

(2) 専門研修

① 教科等に関する研修

教科等に関する研修

令和4年12月の中央教育審議会答申「『令和の日本型学校教育』を担う教師の養成・採用・研修等の在り方について」と、令和6年4月16日に示されたNITS「『研修観の転換』に向けたNITSからの提案(第一次)」を踏まえ、本研修では、新たな教師の学びの実現を促すため絶えず工夫を重ねています。子供の学びと教師の学びの姿を「相似形」と捉え、主体的に学び続ける教師の姿がロールモデルとなるという視点の基、受講者が理論と実践の往還を通じて自身の教職実践の特徴や考え方の枠組み、自己の在り方を振り返り、新たな気付きや探究が生まれるよう研修をデザインしました。

また、日々進化し続けるICT技術を活用し、効果的に授業づくりに生かすことができる教師の育成を目指し、研修内容の充実を図っています。

さらに、小・中・高等学校の連続性・系統性を意識した学校種の枠を超えた研修をはじめ、大学と連携して教員を志す学生と共に学ぶ研修、学校現場を会場とした研修、仙台市教育センターと連携した研修等、各教育機関との連携・協力の基、研修の枠組みや形態を多様に展開しています。

これまでの研修履歴と今後の成長に必要な資質能力をご検討の上、積極的にお申し込みください。

なお、本研修は一部(悉皆対象を含むもの、その他)を除き、初任者研修(3年目)及び中堅教諭等資質向上研修における選択研修に該当します。

専門研修

みやぎの教員に 求められる 資質能力 (指標) ※研修計画p.1を参照	指標経験段階	基礎形成期	資質成長期	資質充実期	深化発展期									
	指標資質能力	教諭 栄教	授業 理解	指導 支え	養教	管理 理解	教育 支え	健・保	幼教等	指導 支え	子供	管理職等	素養 組織 育成	経営 連携
		意欲・人間性		情熱			人間		研鑽					

希望研修

選択研修等	初任研3年目	中堅研	中堅実助	中堅養教	免外
-------	--------	-----	------	------	----

研修会 番号	C0112	国語科研修会 小学校(書くこと) ～主体的・対話的で深い学びを充実させるための授業の在り方～	申込必要
			[定員 80 名]

目的・ねらい	小学校における国語科教育の課題、授業改善の方向性を捉えるとともに、「主体的・対話的で深い学び」を視点とした授業改善について考えることを通し、授業力の向上を図る。
--------	--

【受講対象者】

設立区分	校種							
県立等	中学校	高等学校	特支幼稚部	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	学校以外
市町村立	幼稚園等	小学校	小(義・併)	中学校	中(義・併)	高等学校	学校以外	
仙台市立	幼稚園等	中等教育学校	高等学校	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	
私立	幼稚園等	小学校	中学校	高等学校	特支高等部	特支他		
その他	聴講(農業大学校・仙台高等専門学校・宮教大附属のみ)							

職種							
校長	副校長	教頭	主幹教諭	教諭	養護教諭	栄養教諭	栄養職員
実習助手	寄宿舎指導員	講師	事務(事務等)	事務(指主等)	幼稚園教諭	その他	

【研修内容】

7月28日(火)	講義・演習	国語科授業における「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」(仮) 講師:文部科学省 教科調査官 大塚 健太郎 氏(予定)
	講義・演習	国語科授業における「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」を図る実践(仮) 講師:淑徳大学 教授 青山 由紀 氏(予定)
オンライン研修		
9月28日(月)	講義	「書くこと」における「主体的・対話的で深い学び」について(仮) 講師:お茶の水女子大学附属中学校 教諭 渡邊 光輝 氏(予定)
	研究協議	「書くこと」における授業づくりの工夫と課題(仮) 講師:総合教育センター 指導主事
会場: 総合教育センター		
事前・事後の eラーニング	特になし	

【PR・連絡等】

2日目は、小・中・高等学校合同で「書くこと」における課題(ICTの活用を含む)に焦点をあてた研修です。
対象となる指標経験段階を示していますが、それ以外でも受講できます。

※1日目はリアルタイムオンライン配信で実施します。詳細は7月上旬に、総合教育センターホームページに掲載します。
※2日目の研究協議では、事前提出のレポート課題があります。詳細は8月下旬に、総合教育センターホームページに掲載します。

専門研修

みやぎの教員に 求められる 資質能力 (指標)	指標経験段階	基礎形成期	資質成長期		資質充実期		深化発展期		管理職等	素養 組織 育成	経営 連携 育成			
	指標資質能力	教諭 栄教	授業 理解	指導 支え	養教	管理 理解	教育 支え	健・保				幼教等	指導 支え	子供
	※研修計画p.1を参照	意欲・人間性		情熱		人間		研鑽						

希望研修

選択研修等	初任研3年目	中堅研	中堅実助	中堅養教	免外
-------	--------	-----	------	------	----

研修会 番号	C0122	国語科研修会 中学校(書くこと) ~主体的・対話的で深い学びを充実させるための授業の在り方~	申込必要 [定員 30名]
-----------	-------	---	------------------

目的・ねらい	中学校における国語科教育の課題、授業改善の方向性を捉えるとともに、「主体的・対話的で深い学び」を視点とした授業改善について考えることを通し、授業力の向上を図る。
--------	--

【受講対象者】

設立区分	校種							
県立等	中学校	高等学校	特支幼稚部	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	学校以外
市町村立	幼稚園等	小学校	小(義・併)	中学校	中(義・併)	高等学校	学校以外	
仙台市立	幼稚園等	中等教育学校	高等学校	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	
私立	幼稚園等	小学校	中学校	高等学校	特支高等部	特支他		
その他	聴講(農業大学校・仙台高等専門学校・宮教大附属のみ)							

職種							
校長	副校長	教頭	主幹教諭	教諭	養護教諭	栄養教諭	栄養職員
実習助手	寄宿舎指導員	講師	事務(事務等)	事務(指主等)	幼稚園教諭	その他	

【研修内容】

7月10日(金)	講義・演習	個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実(仮) 講師:文部科学省 教科調査官 鈴木 太郎 氏(予定)
	講義・演習	個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実(仮) 講師:宮城教育大学 教授 児玉 忠 氏(予定)
9月28日(月)	講義	「書くこと」における「主体的・対話的で深い学び」について(仮) 講師:お茶の水女子大学附属中学校 教諭 渡邊 光輝 氏(予定)
	研究協議	「書くこと」における授業づくりの工夫と課題(仮) 講師:総合教育センター 指導主事
事前・事後の eラーニング	特になし	

【PR・連絡等】

2日目は、小・中・高等学校合同で「書くこと」における課題(ICTの活用を含む)に焦点をあてた研修です。対象となる指標経験段階を示していますが、それ以外でも受講できます。

※2日目の研究協議では、事前提出のレポート課題があります。詳細は8月下旬に、総合教育センターホームページに掲載します。
※免許外で国語科を担当している主幹教諭・教諭で国語科に関わる担任経験1年目は悉皆受講です。

専門研修

みやぎの教員に 求められる 資質能力 (指標) ※研修計画p.1を参照	指標経験段階	基礎形成期	資質成長期		資質充実期		深化発展期		管理職等 素養 経営 組織 連携 育成			
	指標資質能力	教諭 栄教	授業 理解	指導 支え	養教	管理 理解	教育 支え	健・保		幼教等	指導 支え	子供
		意欲・人間性		情熱		人間		研鑽				

希望研修

選択研修等	初任研3年目	中堅研	中堅実助	中堅養教	免外
-------	--------	-----	------	------	----

研修会 番号	C0132	国語科研修会 高等学校(書くこと) ～主体的・対話的で深い学びを充実させるための授業の在り方～	申込必要 [定員 40名]
-----------	-------	--	------------------

目的・ねらい	高等学校における国語科教育の課題、授業改善の方向性を捉えるとともに、「主体的・対話的で深い学び」を視点とした授業改善について考えることを通し、授業力の向上を図る。
--------	---

【受講対象者】

設立区分	校種							
県立等	中学校	高等学校	特支幼稚部	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	学校以外
市町村立	幼稚園等	小学校	小(義・併)	中学校	中(義・併)	高等学校	学校以外	
仙台市立	幼稚園等	中等教育学校	高等学校	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	
私立	幼稚園等	小学校	中学校	高等学校	特支高等部	特支他		
その他	聴講(農業大学校・仙台高等専門学校・宮教大附属のみ)							

職種							
校長	副校長	教頭	主幹教諭	教諭	養護教諭	栄養教諭	栄養職員
実習助手	寄宿舎指導員	講師	事務(事務等)	事務(指主等)	幼稚園教諭	その他	

【研修内容】

6月3日(水)	講義	主体的・対話的で深い学びを実現する「古典探究」の授業の在り方(仮) 講師:山形大学 教授 三上 英司 氏
	演習	主体的・対話的で深い学びを実現する「古典探究」の授業づくり(仮) 講師:山形大学 教授 三上 英司 氏
	研究協議	学習指導要領を踏まえた古典探究の授業改善(仮) 講師:総合教育センター指導主事
9月28日(月)	講義	「書くこと」における「主体的・対話的で深い学び」について(仮) 講師:お茶の水女子大学附属中学校 教諭 渡邊 光輝 氏(予定)
	研究協議	「書くこと」における授業づくりの工夫と課題(仮) 講師:総合教育センター指導主事
	特になし	
事前・事後の eラーニング	特になし	

【PR・連絡等】

2日目は、小・中・高等学校合同で「書くこと」における課題(ICTの活用を含む)に焦点をあてた研修です。対象となる指標経験段階を示していますが、それ以外でも受講できます。

※2日目の研究協議では、事前提出のレポート課題があります。詳細は8月下旬に、総合教育センターホームページに掲載します。

専門研修

みやぎの教員に 求められる 資質能力 (指標)	指標経験段階	基礎形成期	資質成長期	資質充実期	深化発展期									
	指標資質能力 ※研修計画p.1を参照	教諭 栄教	授業 理解	指導 支え	養教	管理 理解	教育 支え	健・保	幼教等	指導 支え	子供	管理職等	素養 組織 連携 育成	経営
		意欲・人間性		情熱			人間		研鑽					

希望研修

選択研修等	初任研3年目	中堅研	中堅実助	中堅養教	免外
-------	--------	-----	------	------	----

研修会 番号	C0210	社会科研修会 小学校 ～持続可能な社会の創り手を育成する社会科、地理歴史科・公民科の授業づくりを目指して～	申込必要
			[定員 30 名]

目的・ねらい	小学校・中学校・高等学校の学びの連続性を踏まえた問題解決的な学習の充実を図る授業づくりをテーマとし、講義や同校種・異校種での研究協議など実践的な研修を通して指導方法の工夫・改善について検討し、授業力の向上を図る。
--------	--

【受講対象者】

設立区分	校種							
県立等	中学校	高等学校	特支幼稚部	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	学校以外
市町村立	幼稚園等	小学校	小(義・併)	中学校	中(義・併)	高等学校	学校以外	
仙台市立	幼稚園等	中等教育学校	高等学校	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	
私立	幼稚園等	小学校	中学校	高等学校	特支高等部	特支他		
その他	聴講(農業大学校・仙台高等専門学校・宮教大附属のみ)							

職種							
校長	副校長	教頭	主幹教諭	教諭	養護教諭	栄養教諭	栄養職員
実習助手	寄宿舎指導員	講師	事務(事務等)	事務(指主等)	幼稚園教諭	その他	

【研修内容】

8月4日(火)	講義	次期学習指導要領の方向性と社会科における問題解決的な学習 講師:国立教育政策研究所 教育課程調査官 小関 祐之 氏
	実践発表	社会科、地歴科・公民科における問題解決的な学習の授業実践 講師:県内公立学校の主幹教諭又は教諭
	協議	講義・実践発表を踏まえた、単元デザイン・授業づくりについて 講師:宮城教育大学大学院教授 吉田 剛 氏、総合教育センター指導主事
9月30日(水)	講義	これからの社会科教育の在り方と小学校・中学校・高等学校の学びの接続 講師:宮城教育大学大学院教授 吉田 剛 氏
	研究協議	学びの接続を踏まえた社会科、地歴科・公民科における問題解決的な学習の充実を図る授業づくりの工夫 講師:宮城教育大学大学院教授 吉田 剛 氏、総合教育センター指導主事
事前・事後のeラーニング	特になし	

【PR・連絡等】

2日間とも、小学校・中学校・高等学校の3校種合同で、宮城教育大学と連携して実施します。講義や、同校種・異校種間の教員同士、現役の教員と教員を目指す学生の学び合いを通して、今求められる社会科、地歴科・公民科の授業の在り方やICTを効果的に活用する授業について考えます。

1日目は、講義・実践発表で社会科の問題解決的な学習について学び、協議では、講義・実践発表を踏まえて単元デザインや授業づくりの検討をグループで行います。

2日目は、講義で異校種間の学びの接続について理解を深め、研究協議では事前課題である「単元デザインシート」を持ち寄り、同校種・異校種間のグループで指導上の工夫や課題等を共有し、授業力の向上を図ります。事前課題の詳細は、7月に総合教育センターホームページに掲載します。

2日間の研修を通して、社会科教育についての理論と実践を往還しながら、研修参加者が探究していく構成となっています。

対象となる指標経験段階を示していますが、それ以外でも受講できます。

みやぎの教員に 求められる 資質能力 (指標)	指標経験段階	基礎形成期	資質成長期	資質充実期	深化発展期									
	指標資質能力 ※研修計画p.1を参照	教諭 栄教	授業 理解	指導 支え	養教	管理 理解	教育 支え	健・保	幼教等	指導 支え	子供	管理職等	素養 組織 育成	経営 連携
		意欲・人間性	情熱			人間		研鑽						

希望研修

選択研修等	初任研3年目	中堅研	中堅実助	中堅養教	免外
-------	--------	-----	------	------	----

研修会 番号	C0220	社会科研修会 中学校 ～持続可能な社会の創り手を育成する社会科、地理歴史科・公民科の授業づくりを目指して～	申込必要
			[定員 30 名]

目的・ねらい	小学校・中学校・高等学校の学びの連続性を踏まえた問題解決的な学習の充実を図る授業づくりをテーマとし、講義や同校種・異校種での研究協議など実践的な研修を通して指導方法の工夫・改善について検討し、授業力の向上を図る。
--------	--

【受講対象者】

設立区分	校種							
県立等	中学校	高等学校	特支幼稚部	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	学校以外
市町村立	幼稚園等	小学校	小(義・併)	中学校	中(義・併)	高等学校	学校以外	
仙台市立	幼稚園等	中等教育学校	高等学校	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	
私立	幼稚園等	小学校	中学校	高等学校	特支高等部	特支他		
その他	聴講(農業大学校・仙台高等専門学校・宮教大附属のみ)							

職種							
校長	副校長	教頭	主幹教諭	教諭	養護教諭	栄養教諭	栄養職員
実習助手	寄宿舎指導員	講師	事務(事務等)	事務(指主等)	幼稚園教諭	その他	

【研修内容】

会場: 宮城教育大学	8月4日(火)	講義	次期学習指導要領の方向性と社会科における問題解決的な学習 講師:国立教育政策研究所 教育課程調査官 小関 祐之 氏
	9月30日(水)	実践発表	社会科、地歴科・公民科における問題解決的な学習の授業実践 講師:県内公立学校の主幹教諭又は教諭
		協議	講義・実践発表を踏まえた、単元デザイン・授業づくりについて 講師:宮城教育大学大学院教授 吉田 剛 氏、総合教育センター指導主事
会場: 宮城教育大学	9月30日(水)	講義	これからの社会科教育の在り方と小学校・中学校・高等学校の学びの接続 講師:宮城教育大学大学院教授 吉田 剛 氏
		研究協議	学びの接続を踏まえた社会科、地歴科・公民科における問題解決的な学習の充実を図る授業づくりの工夫 講師:宮城教育大学大学院教授 吉田 剛 氏、総合教育センター指導主事
事前・事後の eラーニング		特になし	

【PR・連絡等】

2日間とも、小学校・中学校・高等学校の3校種合同で、宮城教育大学と連携して実施します。講義や、同校種・異校種間の教員同士、現役の教員と教員を目指す学生の学び合いを通して、今求められる社会科、地歴科・公民科の授業の在り方やICTを効果的に活用する授業について考えます。

1日目は、講義・実践発表で社会科の問題解決的な学習について学び、協議では、講義・実践発表を踏まえて単元デザインや授業づくりの検討をグループで行います。

2日目は、講義で異校種間の学びの接続について理解を深め、研究協議では事前課題である「単元デザインシート」を持ち寄り、同校種・異校種間のグループで指導上の工夫や課題等を共有し、授業力の向上を図ります。事前課題の詳細は、7月に総合教育センターホームページに掲載します。

2日間の研修を通して、社会科教育についての理論と実践を往還しながら、研修参加者が探究していく構成となっています。

対象となる指標経験段階を示していますが、それ以外でも受講できます。
※免許外で社会科を担当している主幹教諭・教諭で、社会科に関わる担任経験1年目は悉皆受講です。

専門研修

みやぎの教員に 求められる 資質能力 (指標)	指標経験段階	基礎形成期	資質成長期	資質充実期	深化発展期									
	指標資質能力 ※研修計画p.1を参照	教諭 栄教	授業 理解	指導 支え	養教	管理 理解	教育 支え	健・保	幼教等	指導 支え	子供	管理職等	素養 組織 育成	経営 連携
		意欲・人間性		情熱			人間		研鑽					

希望研修

選択研修等	初任研3年目	中堅研	中堅実助	中堅養教	免外
-------	--------	-----	------	------	----

研修会 番号	C0230	社会科研修会 高等学校(地歴科・公民科) ～持続可能な社会の創り手を育成する社会科、地理歴史科・公民科の授業づくりを目指して～	申込必要 [定員 30 名]
-----------	-------	--	-------------------

目的・ねらい	小学校・中学校・高等学校の学びの連続性を踏まえた問題解決的な学習の充実を図る授業づくりをテーマとし、講義や同校種・異校種での研究協議など実践的な研修を通して指導方法の工夫・改善について検討し、授業力の向上を図る。
--------	--

【受講対象者】

設立区分	校種							
県立等	中学校	高等学校	特支幼稚部	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	学校以外
市町村立	幼稚園等	小学校	小(義・併)	中学校	中(義・併)	高等学校	学校以外	
仙台市立	幼稚園等	中等教育学校	高等学校	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	
私立	幼稚園等	小学校	中学校	高等学校	特支高等部	特支他		
その他	聴講(農業大学校・仙台高等専門学校・宮教大附属のみ)							

職種							
校長	副校長	教頭	主幹教諭	教諭	養護教諭	栄養教諭	栄養職員
実習助手	寄宿舎指導員	講師	事務(事務等)	事務(指主等)	幼稚園教諭	その他	

【研修内容】

会場: 宮城教育大学	8月4日(火)	講義	次期学習指導要領の方向性と社会科における問題解決的な学習 講師: 国立教育政策研究所 教育課程調査官 小関 祐之 氏
		実践発表	社会科、地歴科・公民科における問題解決的な学習の授業実践 講師: 県内公立学校の主幹教諭又は教諭
		協議	講義・実践発表を踏まえた、単元デザイン・授業づくりについて 講師: 宮城教育大学大学院教授 吉田 剛 氏、総合教育センター指導主事
会場: 宮城教育大学	9月30日(水)	講義	これからの社会科教育の在り方と小学校・中学校・高等学校の学びの接続 講師: 宮城教育大学大学院教授 吉田 剛 氏
		研究協議	学びの接続を踏まえた社会科、地歴科・公民科における問題解決的な学習の充実を図る授業づくりの工夫 講師: 宮城教育大学大学院教授 吉田 剛 氏、総合教育センター指導主事
事前・事後の eラーニング		特になし	

【PR・連絡等】

2日間とも、小学校・中学校・高等学校の3校種合同で、宮城教育大学と連携して実施します。講義や、同校種・異校種間の教員同士、現役の教員と教員を目指す学生の学び合いを通して、今求められる社会科、地歴科・公民科の授業の在り方やICTを効果的に活用する授業について考えます。

1日目は、講義・実践発表で社会科の問題解決的な学習について学び、協議では、講義・実践発表を踏まえて単元デザインと授業づくりの検討をグループで行います。

2日目は、講義で異校種間の学びの接続について理解を深め、研究協議では事前課題である「単元デザインシート」を持ち寄り、同校種・異校種間のグループで指導上の工夫や課題等を共有し、授業力の向上を図ります。事前課題の詳細は、7月に総合教育センターホームページに掲載します。

2日間の研修を通して、社会科教育についての理論と実践を往還しながら、研修参加者が探究していく構成となっています。

対象となる指標経験段階を示していますが、それ以外でも受講できます。

みやぎの教員に 求められる 資質能力 (指標) ※研修計画p.1を参照	指標経験段階	基礎形成期		資質成長期		資質充実期		深化発展期		素養 経営 組織 連携 育成		
	指標資質能力	教諭 栄教	授業 理解	指導 支え	養教	管理 理解	教育 支え	健・保	幼教等		指導 支え	子供
		意欲・人間性		情熱		人間		研鑽			管理職等	

希望研修

選択研修等	初任研3年目	中堅研	中堅実助	中堅養教	免外
-------	--------	-----	------	------	----

研修会 番号	C0310	算数・数学科研修会 小学校 ～小・中の系統性を踏まえた授業づくり～	申込必要 [定員 60名]
-----------	-------	--------------------------------------	------------------

目的・ねらい	学習指導要領で求められている算数・数学の授業についての理解を深め、小・中の系統性を踏まえた算数科の実践的な授業づくり研修により、小中連携を意識した指導の在り方について考え、指導方法の工夫・改善や指導力の向上を図る。
--------	---

【受講対象者】

設立区分	校種							
県立等	中学校	高等学校	特支幼稚部	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	学校以外
市町村立	幼稚園等	小学校	小(義・併)	中学校	中(義・併)	高等学校	学校以外	
仙台市立	幼稚園等	中等教育学校	高等学校	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	
私立	幼稚園等	小学校	中学校	高等学校	特支高等部	特支他		
その他	聴講(農業大学校・仙台高等専門学校・宮大附属のみ)							

職種							
校長	副校長	教頭	主幹教諭	教諭	養護教諭	栄養教諭	栄養職員
実習助手	寄宿舎指導員	講師	事務(事務等)	事務(指主等)	幼稚園教諭	その他	

【研修内容】

会場: 総合教育センター	7月10日(金)	講義	小・中学校の系統性を踏まえた授業づくり(仮) 講師:宮城教育大学大学院 教授 市川 啓 氏
		講義	全国学力・学習状況調査結果から考える算数・数学科の課題(検証改善委員会報告書より) 講師:総合教育センター 指導主事
		講義	学力向上に向けた魅力ある授業の構築について(仮)(教育課題研究より) 講師:総合教育センター 指導主事
		演習	授業づくり研修 講師:総合教育センター 指導主事
会場: オンライン研修	7月29日(水)	協議	「全国学力・学習状況調査の分析」～他自治体との協議で広げる授業改善の視点～ 講師:仙台市教育センター・宮城県総合教育センター指導主事
		講義・協議	調査官との対話で創る授業デザイン～分析から実践への具体的改善～ 講師:国立教育政策研究所学力調査官 小山 雅史 氏
事前・事後の eラーニング	1日目の事前		授業づくりと宮城県検証改善委員会報告書の活用について(算数科)

【PR・連絡等】

1日目は、算数・数学科研修会(中学校)と合同で実施します。午前は小中の系統性を踏まえた授業づくりについて、午後は「全国学力・学習状況調査」等の分析を基にした課題解決に向けた講義を行います。演習では、講義を基に中学校の先生方と共に、小中の系統性を意識した算数・数学の授業の在り方について考えます。小中のスムーズな接続や連携の在り方を主眼に置きつつ、ICTを効果的に取り入れた授業構成など、実践的な授業づくりの質を高めていきます。

2日目は、仙台市の先生方と一緒に、リアルタイム・オンライン形式による研修です。全国学力・学習状況調査の問題分析に基づいた授業設計や、算数のよさを実感できる実践的なアプローチについて考えます。

対象となる指標経験段階を示していますが、それ以外でも受講できます。
※本研修は、事前にPlantによる動画の視聴が必要となります。【研修内容】を参照の上、事前視聴を行ってください。

みやぎの教員に 求められる 資質能力 (指標)	指標経験段階	基礎形成期		資質成長期		資質充実期		深化発展期		管理職等	素養 組織 育成	経営 連携		
	指標資質能力	教諭 栄教	授業 理解	指導 支え	養教	管理 理解	教育 支え	健・保	幼教等				指導 支え	子供
	※研修計画p.1を参照	意欲・人間性		情熱		人間		研鑽						

希望研修

選択研修等	初任研3年目	中堅研	中堅実助	中堅養教	免外
-------	--------	-----	------	------	----

研修会 番号	C0320	算数・数学科研修会 中学校 ～小・中の系統性を踏まえた授業づくり～	申込必要
			[定員 40名]

目的・ねらい	学習指導要領で求められている算数・数学の授業についての理解を深め、小・中の系統性を踏まえた算数科の実践的な授業づくり研修により、小中連携を意識した指導の在り方について考え、指導方法の工夫・改善や指導力の向上を図る。
--------	---

【受講対象者】

設立区分	校種							
県立等	中学校	高等学校	特支幼稚部	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	学校以外
市町村立	幼稚園等	小学校	小(義・併)	中学校	中(義・併)	高等学校	学校以外	
仙台市立	幼稚園等	中等教育学校	高等学校	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	
私立	幼稚園等	小学校	中学校	高等学校	特支高等部	特支他		
その他	聴講(農業大学校・仙台高等専門学校・宮教大附属のみ)							

職種							
校長	副校長	教頭	主幹教諭	教諭	養護教諭	栄養教諭	栄養職員
実習助手	寄宿舎指導員	講師	事務(事務等)	事務(指主等)	幼稚園教諭	その他	

【研修内容】

会場: 総合教育センター	7月10日(金)	講義	小・中学校の系統性を踏まえた授業づくり(仮) 講師:宮城教育大学大学院 教授 市川 啓 氏
		講義	全国学力・学習状況調査結果から考える算数・数学科の課題(検証改善委員会報告書より) 講師:総合教育センター 指導主事
		講義	学力向上に向けた魅力ある授業の構築について(仮)(教育課題研究より) 講師:総合教育センター 指導主事
		演習	授業づくり研修 講師:総合教育センター 指導主事
会場: オンライン研修	8月3日(月)	講義・演習	問題発見・解決の過程を重視と深い学びのある授業づくり(仮) ～学習指導要領の趣旨と高次の資質・能力の育成を踏まえて～ 講師:岩手大学 准教授 佐藤 寿仁 氏
		講義・演習	単元指導を見通した学習者が主体となる授業づくり ～全国学力・学習状況調査の結果を踏まえて～ 講師:岩手大学 准教授 佐藤 寿仁 氏
事前・事後の eラーニング	1日目の事前		授業づくりと宮城県検証改善委員会報告書の活用について(数学科)

【PR・連絡等】

1日目は、算数・数学科研修会(小学校)と合同で実施します。午前中は小中の系統性を踏まえた授業づくりについて、午後は「全国学力・学習状況調査」等の分析を基にした課題解決に向けた講義を行います。演習では、講義を基に小学校の先生方と共に、小中の系統性を意識した算数・数学の授業の在り方について考えます。小中のスムーズな接続や連携の在り方を主眼に置きつつ、ICTを効果的に取り入れた授業構成など、実践的な授業づくりの質を高めていきます。

2日目は、仙台市の先生方と一緒に、リアルタイム・オンライン形式の研修です。午前は、数学科の授業づくりや数学的な資質・能力を育てるための視点、問題発見・課題解決について理解を深め、午後は、午前の講義を基に、全国学力・学習状況調査の結果を分析し、単元を見通した主体的な授業づくりについて研修を深めていきます。

対象となる指標経験段階を示していますが、それ以外でも受講できます。
 ※本研修は、事前にPlantによる動画の視聴が必要となります。【研修内容】を参照の上、事前視聴を行ってください。
 ※免許外で数学を担当している主幹教諭・教諭で数学に関わる担任経験1年目は悉皆受講です。

専門研修

みやぎの教員に 求められる 資質能力 (指標)	指標経験段階	基礎形成期		資質成長期		資質充実期		深化発展期		素養 経営 組織 連携 育成		
	指標資質能力 ※研修計画p.1を参照	教諭 栄教	授業 理解	指導 支え	養教	管理 理解	教育 支え	健・保	幼教等		指導 支え	子供
		意欲・人間性		情熱			人間		研鑽		管理職等	

希望研修

選択研修等	初任研3年目	中堅研	中堅実助	中堅養教	免外
-------	--------	-----	------	------	----

研修会 番号	C0330	算数・数学科研修会 高等学校 ～深い学びを実現する授業設計とは～	申込必要 [定員 30名]
-----------	-------	-------------------------------------	------------------

目的・ねらい	「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業づくりを推進するために、「個別最適な学びと協働的な学び」を一体的に充実させる授業づくりのヒントを提供し、授業力向上と授業改善を図る。
--------	---

【受講対象者】

設立区分	校種							
県立等	中学校	高等学校	特支幼稚部	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	学校以外
市町村立	幼稚園等	小学校	小(義・併)	中学校	中(義・併)	高等学校	学校以外	
仙台市立	幼稚園等	中等教育学校	高等学校	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	
私立	幼稚園等	小学校	中学校	高等学校	特支高等部	特支他		
その他	聴講(農業大学校・仙台高等専門学校・宮教大附属のみ)							

職種							
校長	副校長	教頭	主幹教諭	教諭	養護教諭	栄養教諭	栄養職員
実習助手	寄宿舎指導員	講師	事務(事務等)	事務(指主等)	幼稚園教諭	その他	

【研修内容】

会場: 総合教育センター	7月31日(金)	講義	公立高等学校入学者選抜結果とみやぎ学力状況調査から読み解く学力の現状と課題 総合教育センター指導主事
		実践発表	深い学びの実現を意識した授業づくり(仮) 県内高等学校教諭
		講義・演習	数学科における深い学びを実現する授業設計とは 文部科学省 教科調査官
事前・事後の eラーニング	1日目の事前		NITS動画教材 新学習指導要領シリーズNo.62 「新学習指導要領改訂のポイントと学習評価(高等学校 数学科)」

【PR・連絡等】

令和の日本型学校教育の理念に基づき、「主体的・対話的で深い学び」を実現し、受講者の教科指導力の向上を図ります。始めに、本県の公立高等学校入学者選抜学力検査の結果とみやぎ学力状況調査の結果から、数学科の学習における具体的な課題を明らかにします。その上で、「主体的・対話的で深い学び」を実現するための授業づくりに焦点を当て、「個別最適な学びと協働的な学び」を一体的に充実させる授業づくりのヒントを提供します(ICTの効果的な活用も含みます)。具体的には、深い学びの実現を意識した授業設計の実践事例と教科調査官による講義を基に、「深い学びを実現する授業」を受講者同士が協働して設計し、すぐに実践できる具体的な授業づくりについて研修を深めます。これらの活動を通じて、受講者の授業力向上と授業改善を推進します。

対象となる指標経験段階を示していますが、それ以外でも受講できます。
※本研修は、事前にPlantによる動画の視聴が必要となります。【研修内容】を参照の上、事前視聴を行ってください。

みやぎの教員に 求められる 資質能力 (指標)	指標経験段階	基礎形成期		資質成長期		資質充実期		深化発展期		素養 経営 組織 連携 育成	
	指標資質能力	教諭 栄教	授業 理解	指導 支え	養教	管理 理解	教育 支え	健・保	幼教等		指導 子供 支え
	※研修計画p.1を参照	意欲・人間性		情熱		人間		研鑽			管理職等

希望研修

選択研修等	初任研3年目	中堅研	中堅実助	中堅養教	免外
-------	--------	-----	------	------	----

研修会 番号	C0401	理科研修会 小学校 ～児童生徒の資質・能力を育む理科教育～	申込必要 [定員 20 名]
-----------	-------	----------------------------------	-------------------

目的・ねらい	学習指導要領の趣旨を理解し、小・中・高等学校を通して育成を目指す資質・能力や指導内容の系統性を意識した学習指導の在り方についての講義を踏まえ、講義で得た知識をもとに授業を計画・実践することで、教員としての理科指導力の向上を図る。
--------	--

【受講対象者】

設立区分	校種							
県立等	中学校	高等学校	特支幼稚部	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	学校以外
市町村立	幼稚園等	小学校	小(義・併)	中学校	中(義・併)	高等学校	学校以外	
仙台市立	幼稚園等	中等教育学校	高等学校	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	
私立	幼稚園等	小学校	中学校	高等学校	特支高等部	特支他		
その他	聴講(農業大学校・仙台高等専門学校・宮教大附属のみ)							

職種							
校長	副校長	教頭	主幹教諭	教諭	養護教諭	栄養教諭	栄養職員
実習助手	寄宿舎指導員	講師	事務(事務等)	事務(指主等)	幼稚園教諭	その他	

【研修内容】

7月2日(木)	講義・演習	学習指導要領の趣旨を踏まえた理科の授業づくり(仮) 講師:文部科学省 教科調査官(予定)
	実習	児童生徒が既習事項や生活経験を結び付け、予想や仮説を発想する指導の工夫 講師:県内教諭(予定)
	講義・演習	児童生徒が既習事項や生活経験を結び付け、予想や仮説を発想する授業づくり 講師:総合教育センター指導主事
11月4日(水)		(午後からの研修)
	授業参観	小学校理科授業の実際 講師:県内小学校教諭(予定)
	研究協議	児童生徒が既習事項や生活経験を結び付け、予想や仮説を発想する指導 講師:総合教育センター指導主事
事前・事後のeラーニング	特になし	

【PR・連絡等】

<p>1日目は、小・中・高等学校合同で行います。講義・演習で学習指導要領の趣旨について学び、実習と講義・演習を通して、児童生徒が既習事項や生活経験を結び付け、予想や仮説を発想する授業づくりについて考えます。演習はICTを活用します。</p> <p>2日目は、県内小学校の理科授業を参観し、1日目から2日目までの期間で実施した自己の授業を振り返りながら研究協議を行い、授業改善の充実を図ります。</p> <p>対象となる指標経験段階を示していますが、それ以外でも受講できます。</p>

みやぎの教員に 求められる 資質能力 (指標)	指標経験段階	基礎形成期		資質成長期		資質充実期		深化発展期		管理職等 素養 経営 組織 連携 育成	
	指標資質能力	教諭 栄教	授業 理解	指導 支え	養教	管理 理解	教育 支え	健・保	幼教等		指導 子供 支え
	※研修計画p.1を参照	意欲・人間性		情熱		人間		研鑽			

希望研修

選択研修等	初任研3年目	中堅研	中堅実助	中堅養教	免外
-------	--------	-----	------	------	----

研修会 番号	C0402	理科研修会 中学校 ～児童生徒の資質・能力を育む理科教育～	申込必要 [定員 20名]
-----------	-------	----------------------------------	------------------

目的・ねらい	学習指導要領の趣旨を理解し、小・中・高等学校を通して育成を目指す資質・能力や指導内容の系統性を意識した学習指導の在り方についての講義を踏まえ、講義で得た知識をもとに授業を計画・実践することで、教員としての理科指導力の向上を図る。
--------	--

【受講対象者】

設立区分	校種							
県立等	中学校	高等学校	特支幼稚部	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	学校以外
市町村立	幼稚園等	小学校	小(義・併)	中学校	中(義・併)	高等学校	学校以外	
仙台市立	幼稚園等	中等教育学校	高等学校	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	
私立	幼稚園等	小学校	中学校	高等学校	特支高等部	特支他		
その他	聴講(農業大学校・仙台高等専門学校・宮教大附属のみ)							

職種							
校長	副校長	教頭	主幹教諭	教諭	養護教諭	栄養教諭	栄養職員
実習助手	寄宿舎指導員	講師	事務(事務等)	事務(指主等)	幼稚園教諭	その他	

【研修内容】

7月2日(木)	講義・演習	学習指導要領の趣旨を踏まえた理科の授業づくり(仮) 講師:文部科学省 教科調査官(予定)
	実習	児童生徒が既習事項や生活経験を結び付け、予想や仮説を発想する指導の工夫 講師:県内教諭(予定)
	講義・演習	児童生徒が既習事項や生活経験を結び付け、予想や仮説を発想する授業づくり 講師:総合教育センター指導主事
10月19日(月)		(午後からの研修)
	授業参観	中学校理科教育の実際 講師:県内中学校教諭(予定)
	研究協議	児童生徒が既習事項や生活経験を結び付け、予想や仮説を発想する指導 講師:総合教育センター指導主事
事前・事後のeラーニング	特になし	

【PR・連絡等】

1日目は、小・中・高等学校合同で行います。講義・演習で学習指導要領の趣旨について学び、実習と講義・演習を通して、児童生徒が既習事項や生活経験を結び付け、予想や仮説を発想する授業づくりについて考えます。演習はICTを活用します。

2日目は、県内中学校の理科授業を参観し、1日目から2日目までの期間で実施した自己の授業を振り返りながら研究協議を行い、授業改善の充実を図ります。

対象となる指標経験段階を示していますが、それ以外でも受講できます。

※免許外で理科を担当している主幹教諭・教諭で理科に関わる担任経験1年目は悉皆受講です。

専門研修

みやぎの教員に 求められる 資質能力 (指標)	指標経験段階	基礎形成期		資質成長期		資質充実期		深化発展期		素養 経営 組織 連携 育成		
	指標資質能力 ※研修計画p.1を参照	教諭 栄教	授業 理解	指導 支え	養教	管理 理解	教育 支え	健・保	幼教等		指導 支え	子供
		意欲・人間性		情熱			人間		研鑽		管理職等	

希望研修

選択研修等	初任研3年目	中堅研	中堅実助	中堅養教	免外
-------	--------	-----	------	------	----

研修会 番号	C0403	理科研修会 高等学校 ～児童生徒の資質・能力を育む理科教育～	申込必要 [定員 20 名]
-----------	-------	-----------------------------------	-------------------

目的・ねらい	学習指導要領の趣旨を理解し、小・中・高等学校を通して育成を目指す資質・能力や指導内容の系統性を意識した学習指導の在り方についての講義を踏まえ、講義で得た知識をもとに授業を計画・実践することで、教員としての理科指導力の向上を図る。
--------	--

【受講対象者】

設立区分	校種							
県立等	中学校	高等学校	特支幼稚園	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	学校以外
市町村立	幼稚園等	小学校	小(義・併)	中学校	中(義・併)	高等学校	学校以外	
仙台市立	幼稚園等	中等教育学校	高等学校	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	
私立	幼稚園等	小学校	中学校	高等学校	特支高等部	特支他		
その他	聴講(農業大学校・仙台高等専門学校・宮教大附属のみ)							

職種							
校長	副校長	教頭	主幹教諭	教諭	養護教諭	栄養教諭	栄養職員
実習助手	寄宿舎指導員	講師	事務(事務等)	事務(指主等)	幼稚園教諭	その他	

【研修内容】

7月2日(木)	講義・演習	学習指導要領の趣旨を踏まえた理科の授業づくり(仮) 講師:文部科学省 教科調査官(予定)
	実習	児童生徒が既習事項や生活経験を結び付け、予想や仮説を発想する指導の工夫 講師:県内高等学校教諭(予定)
	講義・演習	児童生徒が既習事項や生活経験を結び付け、予想や仮説を発想する授業づくり 講師:総合教育センター指導主事
10月16日(金)		(午後からの研修)
	授業参観	高等学校理科教育の実際 講師:県内高等学校教諭(予定)
	研究協議	児童生徒が既習事項や生活経験を結び付け、予想や仮説を発想する指導 講師:総合教育センター指導主事
事前・事後の eラーニング	特になし	

【PR・連絡等】

<p>1日目は、小・中・高等学校合同で行います。講義・演習で学習指導要領の趣旨について学び、実習と講義・演習を通して、児童生徒が既習事項や生活経験を結び付け、予想や仮説を発想する授業づくりについて考えます。演習はICTを活用します。</p> <p>2日目は、県内高等学校の理科授業を参観し、1日目から2日目までの期間で実施した自己の授業を振り返りながら研究協議を行い、授業改善の充実を図ります。</p> <p>対象となる指標経験段階を示していますが、それ以外でも受講できます。</p>
--

みやぎの教員に 求められる 資質能力 (指標)	指標経験段階	基礎形成期		資質成長期		資質充実期		深化発展期		管理職等	素養 組織 育成	経営 連携 育成		
	指標資質能力	教諭 栄教	授業 理解	指導 支え	養教	管理 理解	教育 支え	健・保	幼教等				指導 支え	子供
	※研修計画p.1を参照	意欲・人間性		情熱		人間		研鑽						

希望研修

選択研修等

初任研3年目

中堅研

中堅実助

中堅養教

免外

研修会 番号	C0404	理科実験研修会 小学校・中学校 ～安全な観察・実験の実施と基本操作～	申込必要 [定員 40名]
-----------	-------	---------------------------------------	------------------

目的・ねらい	小学校、中学校理科で用いる基本的な実験器具の使い方や薬品の管理について講義、実習を通して理解することにより、薬品等の安全な取扱いや観察・実験技能の向上を図る。
--------	---

【受講対象者】

設立区分	校種							
県立等	中学校	高等学校	特支幼稚部	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	学校以外
市町村立	幼稚園等	小学校	小(義・併)	中学校	中(義・併)	高等学校	学校以外	
仙台市立	幼稚園等	中等教育学校	高等学校	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	
私立	幼稚園等	小学校	中学校	高等学校	特支高等部	特支他		
その他	聴講(農業大学校・仙台高等専門学校・宮教大附属のみ)							

職種							
校長	副校長	教頭	主幹教諭	教諭	養護教諭	栄養教諭	栄養職員
実習助手	寄宿舎指導員	講師	事務(事務等)	事務(指主等)	幼稚園教諭	その他	

【研修内容】

会場: 総合教育センター	7月30日(木)	講義・演習	薬品の管理と実験事故の防止 講師:総合教育センター指導主事
		講義・演習	実験に関する技能指導の実際と課題 講師:県内教諭
		講義・演習	実験器具の使い方とその利用(小・中学校別) 講師:総合教育センター指導主事、外部講師
		講義・演習	理科実験の実際(小・中学校別) 講師:総合教育センター指導主事
事前・事後の eラーニング		特になし	

【PR・連絡等】

小・中学校理科における基本的な観察・実験技能、薬品の管理について演習を通して研修を行います。観察・実験の操作を中心に行う研修会です。演習はICTを活用します。
参加される先生方に事前アンケートをとり、共通している課題を中心に薬品の使い方や管理の仕方、観察・実験のポイントや具体的な方法について実験をしながら紹介します。
小学校の理科専科の教員、小・中学校の1年目から5年目(基礎形成期)の理科担当教員の方々にお勧めの研修会です。
対象となる指標経験段階を示していますが、それ以外でも受講できます。

みやぎの教員に 求められる 資質能力 (指標)	指標経験段階	基礎形成期		資質成長期		資質充実期		深化発展期		管理職等	素養 組織 育成	経営 連携		
	指標資質能力	教諭 栄教	授業 理解	指導 支え	養教	管理 理解	教育 支え	健・保	幼児等				指導 支え	子供
	※研修計画p.1を参照	意欲・人間性		情熱		人間		研鑽						

希望研修

選択研修等	初任研3年目	中堅研	中堅実助	中堅養教	免外
-------	--------	-----	------	------	----

研修会 番号	C0405	理科実験研修会 高等学校 ～理科実験と自然観察～	申込必要
			[定員 40 名]

目的・ねらい	基本的な実験器具の使い方や先端科学技術研究に触れる講義・演習で得た知識・技術を実践につなげるとともに、実践を通して、実習助手としての専門性を高める。
--------	--

【受講対象者】

設立区分	校種							
県立等	中学校	高等学校	特支幼稚部	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	学校以外
市町村立	幼稚園等	小学校	小(義・併)	中学校	中(義・併)	高等学校	学校以外	
仙台市立	幼稚園等	中等教育学校	高等学校	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	
私立	幼稚園等	小学校	中学校	高等学校	特支高等部	特支他		
その他	聴講(農業大学校・仙台高等専門学校・宮教大附属のみ)							

職種							
校長	副校長	教頭	主幹教諭	教諭	養護教諭	栄養教諭	栄養職員
実習助手	寄宿舎指導員	講師	事務(事務等)	事務(指主等)	幼稚園教諭	その他	

【研修内容】

7月17日(金)	講義・実験	生物分野の講義・実験 講師:県内高等学校教諭
	会場: 総合教育センター	講義・実験 講師:県内高等学校教諭
9月8日(火)	講義・実習	講義及び施設見学
	会場: 県内施設	講義・実習 講義及び施設見学
12月4日(金)	研究協議	施設見学のレポート発表
	会場: 総合教育センター	講義・実験 生物分野の講義・実験 講師:総合教育センター指導主事
事前・事後の eラーニング	2日目の事前	講義・施設見学・演習に向けた事前学習

【PR・連絡等】

今年度の講義・実験は生物・地学分野を中心に行います。講義・実習は、県内の大学等の施設で行います。理科の実験・観察や探究活動におけるICT活用に関する実践的な研修として、1人1台端末を活用して2日目の施設見学のレポートを作成します。作成したレポートは3日目の研究協議で発表しますので、発表用の端末を各自で準備してください。

対象となる指標経験段階を示していますが、それ以外でも受講できます。
※本研修は、事前にPlantによる動画の視聴が必要となります。【研修内容】を参照の上、事前視聴を行ってください。

専門研修

みやぎの教員に 求められる 資質能力 (指標)	指標経験段階	基礎形成期	資質成長期	資質充実期	深化発展期									
	指標資質能力 ※研修計画p.1を参照	教諭 栄教	授業 理解	指導 支え	養教	管理 理解	教育 支え	健・保	幼教等	指導 支え	子供	管理職等	素養 組織 育成	経営 連携
		意欲・人間性		情熱			人間		研鑽					

希望研修

選択研修等	初任研3年目	中堅研	中堅実助	中堅養教	免外
-------	--------	-----	------	------	----

研修会 番号	C0501	音楽科研修会 小学校 ～音楽的な見方・考え方を働かせる学習に向けた授業づくり～	申込必要 [定員 20名]
-----------	-------	--	------------------

目的・ねらい	小学校音楽科の学習指導要領の趣旨について理解を深めるとともに、表現及び鑑賞の幅広い活動に対応した研修を通して、実践的指導力の向上を図る。
--------	--

【受講対象者】

設立区分	校種							
県立等	中学校	高等学校	特支幼稚部	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	学校以外
市町村立	幼稚園等	小学校	小(義・併)	中学校	中(義・併)	高等学校	学校以外	
仙台市立	幼稚園等	中等教育学校	高等学校	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	
私立	幼稚園等	小学校	中学校	高等学校	特支高等部	特支他		
その他	聴講(農業大学校・仙台高等専門学校・宮教大附属のみ)							

職種							
校長	副校長	教頭	主幹教諭	教諭	養護教諭	栄養教諭	栄養職員
実習助手	寄宿舎指導員	講師	事務(事務等)	事務(指主等)	幼稚園教諭	その他	

【研修内容】

5月28日(木)	講義	音楽的な見方・考え方を手掛かりとした小学校音楽科における授業づくり(仮) 講師:宮城教育大学 教授
	講義・演習	音楽科教育実践指導法 講師:宮城教育大学 教授、総合教育センター指導主事
	会場:	宮城教育大学
7月3日(金)	研究協議	実践課題研究 講師:総合教育センター指導主事
	講義・演習	創作活動を踏まえた授業づくり(仮) 講師:大学教授 等
	会場:	総合教育センター
事前・事後のeラーニング	特になし	

【PR・連絡等】

1日目は、宮城教育大学を会場に、午前は授業づくりについての講義、午後は様々な楽曲を使用して表現や鑑賞の指導法と評価のポイント等について研修します。小学校の音楽科教育について、基礎的かつ専門的な指導のポイントをつかむ絶好の機会です。宮城教育大学との連携により、教員を目指す学生と共に学びます。

2日目は、午前は実践課題研究として、受講者の実践事例や指導上の課題を基に研究協議を行い、指導の工夫と改善を探ります。午後は、創作活動について、演習を交えながら授業実践に生かせる内容を学ぶ研修です。

対象となる指標経験段階を示していますが、それ以外でも受講できます。

専門研修

みやぎの教員に 求められる 資質能力 (指標)	指標経験段階	基礎形成期		資質成長期		資質充実期		深化発展期		素養 経営 組織 連携 育成		
	指標資質能力	教諭 栄教	授業 理解	指導 支え	養教	管理 理解	教育 支え	健・保	幼教等		指導 支え	子供
	※研修計画p.1を参照	意欲・人間性		情熱		人間		研鑽			管理職等	

希望研修

選択研修等	初任研3年目	中堅研	中堅実助	中堅養教	免外
-------	--------	-----	------	------	----

研修会 番号	C0502	音楽科研修会 中学校・高等学校 ～音楽的な見方・考え方を働かせる学習に向けた授業づくり～	申込必要 [定員 20名]
-----------	-------	---	------------------

目的・ねらい	中学校音楽・高等学校芸術科音楽の学習指導要領の趣旨について理解を深めるとともに、表現及び鑑賞の幅広い活動に対応した研修を通して、実践的指導力の向上を図る。
--------	---

【受講対象者】

設立区分	校種							
県立等	中学校	高等学校	特支幼稚園	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	学校以外
市町村立	幼稚園等	小学校	小(義・併)	中学校	中(義・併)	高等学校	学校以外	
仙台市立	幼稚園等	中等教育学校	高等学校	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	
私立	幼稚園等	小学校	中学校	高等学校	特支高等部	特支他		
その他	聴講(農業大学校・仙台高等専門学校・宮教大附属のみ)							

職種							
校長	副校長	教頭	主幹教諭	教諭	養護教諭	栄養教諭	栄養職員
実習助手	寄宿舎指導員	講師	事務(事務等)	事務(指主等)	幼稚園教諭	その他	

【研修内容】

9月18日(金)	実践発表	魅力ある授業実践 講師: 県内中学校教諭・高等学校教諭
	講義	学習指導要領の趣旨を踏まえた音楽科・芸術科音楽の授業づくり(仮) 講師: 文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官
11月20日(金)	研究協議	実践課題研究 講師: 総合教育センター指導主事
	講義・演習	創作活動を踏まえた授業づくり(仮) 講師: 大学教授 等
事前・事後のeラーニング	特になし	

【PR・連絡等】

1日目は、午前は県内の中学校・高等学校でそれぞれ優れた授業実践をしている先生方に実践発表をしていただきます。午後は、文部科学省から教科調査官を招き、学習指導要領を踏まえた授業づくりや評価等について、最先端の情報も含めて講義いただきます。専門的な視点から指導の在り方を学べる研修です。

2日目は、午前は実践課題研究として、受講者による実践事例や指導上の課題を基に研究協議を行い、指導の工夫と改善を探ります。午後は、創作表現について、指導の具体に触れながら、授業実践の工夫や改善に生かせる内容を学びます。

※免許外で音楽科を担当している主幹教諭・教諭で音楽科に関わる担任経験1年目は悉皆受講です。
対象となる指標経験段階を示していますが、それ以外でも受講できます。

みやぎの教員に 求められる 資質能力 (指標) ※研修計画p.1を参照	指標経験段階	基礎形成期		資質成長期		資質充実期		深化発展期		管理職等 管理職等 管理職等	素養 組織 育成	経営 連携 育成		
	指標資質能力	教諭 栄教	授業 理解	指導 支え	養教	管理 理解	教育 支え	健・保	幼教等				指導 支え	子供
		意欲・人間性		情熱		人間		研鑽						

希望研修

選択研修等	初任研3年目	中堅研	中堅実助	中堅養教	免外
-------	--------	-----	------	------	----

研修会 番号	C0601	図画工作科・美術科研修会 小学校 ～育成を目指す資質・能力と学習内容との関係を明確にした魅力ある授業づくり～	申込必要
			[定員 15 名]

目的・ねらい	学習指導要領の趣旨を理解するとともに、図画工作科において育成を目指す資質・能力と学習内容との関係を明確にした授業づくりについて、講義、実践発表、協議等を通して学び合う。
--------	--

【受講対象者】

設立区分	校種							
県立等	中学校	高等学校	特支幼稚部	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	学校以外
市町村立	幼稚園等	小学校	小(義・併)	中学校	中(義・併)	高等学校	学校以外	
仙台市立	幼稚園等	中等教育学校	高等学校	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	
私立	幼稚園等	小学校	中学校	高等学校	特支高等部	特支他		
その他	聴講(農業大学校・仙台高等専門学校・宮教大附属のみ)							

職種							
校長	副校長	教頭	主幹教諭	教諭	養護教諭	栄養教諭	栄養職員
実習助手	寄宿舎指導員	講師	事務(事務等)	事務(指主等)	幼稚園教諭	その他	

【研修内容】

会場: 仙台市博物館	7月29日(水)	講義	学習指導要領の趣旨を踏まえた授業づくり～資質・能力の育成を目指した指導と評価～(仮) 講師:文部科学省 教科調査官
		実践発表	魅力ある授業づくりⅠ～資質・能力の育成を目指して～(仮) 講師:県内公立学校 教諭等
		講義	企画展解説(仮) 講師:仙台市博物館 学芸員
		協議	魅力ある授業づくりについて～博物館の活用を通して～(仮) 教育センター指導主事
会場: 総合教育センター	9月18日(金)	実践発表・演習	魅力ある授業づくりⅡ～資質・能力の育成を目指して～(仮) 講師:県内公立学校 教諭等
		協議	学習過程を大切にした授業づくりについて(仮) 総合教育センター 指導主事
	事前・事後の eラーニング	特になし	

【PR・連絡等】

<p>1日目の研修は、仙台市博物館(予定)を会場にして、県内の小・中・高等学校合同で研修会を行います。 1日目の午前は、文科省調査官から学習指導要領の趣旨についての講義をいただく予定です。 1日目の午後は、仙台市立学校と県内公立学校の教諭等の実践発表を聴講した後、仙台市博物館の学芸員より企画展についての講義をいただく予定です。その後、午前・午後の研修から学んだことをテーマに、魅力ある授業について考える協議を行い、学習指導要領の趣旨について理解を深めたり、魅力ある授業のアイデアを練ったりします。</p> <p>2日目の研修は、総合教育センターを会場にして、県内の小学校の先生方で研修会を行います。 2日目の午前は、県内で優れた実践をされている小学校の教諭等の実践発表を聴講した後、演習を行います。 2日目の午後は、受講者自身が実践している題材計画を基に、魅力ある授業について協議を行い、育成する資質・能力や学習内容、ICTの活用について探究的な研究を協働で行います。</p>

みやぎの教員に 求められる 資質能力 (指標)	指標経験段階	基礎形成期	資質成長期	資質充実期	深化発展期								
	指標資質能力 ※研修計画p.1を参照	教諭 栄教	授業 理解	指導 支え	養教	管理 理解	教育 支え	健・保	幼教等	指導 支え	子供	管理職等	素養 組織 連携 育成
		意欲・人間性		情熱			人間		研鑽				

希望研修

選択研修等	初任研3年目	中堅研	中堅実助	中堅養教	免外
-------	--------	-----	------	------	----

研修会 番号	C0602	図画工作科・美術科研修会 中学校・高等学校 ～育成を目指す資質・能力と学習内容との関係を明確にした魅力ある授業づくり～	申込必要 [定員 15 名]
-----------	-------	--	-------------------

目的・ねらい	学習指導要領の趣旨を理解するとともに、中学校美術科・高等学校芸術科(美術・工芸)において育成を目指す資質・能力と学習内容との関係を明確にした授業づくりについて、講義、実践発表、協議等を通して学び合う。
--------	--

【受講対象者】

設立区分	校種							
県立等	中学校	高等学校	特支幼稚部	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	学校以外
市町村立	幼稚園等	小学校	小(義・併)	中学校	中(義・併)	高等学校	学校以外	
仙台市立	幼稚園等	中等教育学校	高等学校	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	
私立	幼稚園等	小学校	中学校	高等学校	特支高等部	特支他		
その他	聴講(農業大学校・仙台高等専門学校・宮教大附属のみ)							
職種								
校長	副校長	教頭	主幹教諭	教諭	養護教諭	栄養教諭	栄養職員	
実習助手	寄宿舎指導員	講師	事務(事務等)	事務(指主等)	幼稚園教諭	その他		

【研修内容】

会場: 仙台市博物館	7月29日(水)	講義	学習指導要領の趣旨を踏まえた授業づくり～資質・能力の育成を目指した指導と評価～(仮) 講師:文部科学省 教科調査官
		実践発表	魅力ある授業づくりⅠ～資質・能力の育成を目指して～(仮) 講師:県内公立学校 教諭等
		講義	企画展解説(仮) 講師:仙台市博物館 学芸員
		協議	魅力ある授業づくりについて～博物館の活用を通して～(仮) 教育センター指導主事
会場: 総合教育センター	10月29日(木)	実践発表・演習	魅力ある授業づくりⅡ～資質・能力の育成を目指して～(仮) 講師:県内公立学校 教諭等
		協議	学習過程を大切にした授業づくりについて(仮) 総合教育センター 指導主事
事前・事後の eラーニング		特になし	

【PR・連絡等】

<p>1日目の研修は、仙台市博物館(予定)を会場にして、県内の小・中・高等学校合同で研修会を行います。 1日目の午前は、文科省調査官から学習指導要領の趣旨についての講義をいただく予定です。 1日目の午後は、仙台市立学校と県内公立学校の教諭等の実践発表を聴講した後、仙台市博物館の学芸員より企画展についての講義をいただく予定です。その後、午前・午後の研修から学んだことをテーマに、魅力ある授業について考える協議を行い、学習指導要領の趣旨について理解を深めたり、魅力ある授業のアイデアを練ったりします。</p> <p>2日目の研修は、総合教育センターを会場にして、県内の中学校・高等学校の先生方で研修会を行います。 2日目の午前は、県内で優れた実践をされている中学校又は高等学校の教諭等の実践発表を聴講した後、演習を行います。 2日目の午後は、受講者自身が実践している題材計画を基に、魅力ある授業について協議を行い、育成する資質・能力や学習内容、ICTの活用について探究的な研究を協働で行います。</p> <p>※免許外で中学校美術科または高等学校芸術科(美術・工芸)を担当している主幹教諭・教諭で、中学校美術科または高等学校芸術科(美術・工芸)に関わる担任経験1年目は悉皆受講です。</p>
--

専門研修

みやぎの教員に 求められる 資質能力 (指標) ※研修計画p.1を参照	指標経験段階	基礎形成期	資質成長期	資質充実期	深化発展期									
	指標資質能力	教諭 栄教	授業 理解	指導 支え	養教	管理 理解	教育 支え	健・保	幼教等	指導 支え	子供	管理職等	素養 組織 育成	経営 連携
		意欲・人間性		情熱			人間		研鑽					

希望研修

選択研修等	初任研3年目	中堅研	中堅実助	中堅養教	免外
-------	--------	-----	------	------	----

研修会 番号	C0701	体育科・保健体育科研修会 小学校 ～全ての子供が運動の楽しさを知り、生涯にわたり運動に親しむ態度を育む授業づくり～	申込必要 [定員 20 名]
-----------	-------	--	-------------------

目的・ねらい	小学校体育科の今日的な課題についての理解を深めるとともに、専門的な体育の知識や運動技術を学び、その解決策を協働的に探り、指導力の向上を図る。
--------	--

【受講対象者】

設立区分	校種							
県立等	中学校	高等学校	特支幼稚部	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	学校以外
市町村立	幼稚園等	小学校	小(義・併)	中学校	中(義・併)	高等学校	学校以外	
仙台市立	幼稚園等	中等教育学校	高等学校	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	
私立	幼稚園等	小学校	中学校	高等学校	特支高等部	特支他		
その他	聴講(農業大学校・仙台高等専門学校・宮教大附属のみ)							

職種							
校長	副校長	教頭	主幹教諭	教諭	養護教諭	栄養教諭	栄養職員
実習助手	寄宿舎指導員	講師	事務(事務等)	事務(指主等)	幼稚園教諭	その他	

【研修内容】

会場: 仙台大学	9月9日(水)	実技・演習	小・中・高等学校の系統性を踏まえた授業づくり～球技(ネット型・バドミントン)～ 講師:仙台大学 教授等
	9月15日(火)	実技・演習	小・中・高等学校の系統性を踏まえた授業づくり～体づくり運動～ 講師:仙台大学 教授等
		講義	運動の二極化の改善 県内小・中・高等学校教諭、総合教育センター指導主事
会場: 仙台大学	9月15日(火)	実技・演習	小・中・高等学校の系統性を踏まえた授業づくり～陸上競技(跳躍種目・走り高跳び)～ 講師:仙台大学 教授等
		講義・演習	授業等におけるICTの効果的な活用 講師:仙台大学 教授等
	事前・事後の eラーニング		協議

【PR・連絡等】

小・中・高等学校の系統性を踏まえた授業づくりや、児童生徒の運動への意欲が高まる授業づくりについて学んでいきます。
校種の異なる教員、学生と共に活動や協議し、互いに教科指導力を高めていきます。

本研修会は、仙台大学と連携し、教員を目指す学生と共に学ぶ研修会です。
※1日目午後の「実技・演習」以外は小・中・高等学校合同の研修です。

専門研修

みやぎの教員に 求められる 資質能力 (指標)	指標経験段階	基礎形成期	資質成長期	資質充実期	深化発展期									
	指標資質能力 ※研修計画p.1を参照	教諭 栄教	授業 理解	指導 支え	養教	管理 理解	教育 支え	健・保	幼教等	指導 支え	子供	管理職等	素養 組織 育成	経営 連携
		意欲・人間性		情熱			人間		研鑽					

希望研修

選択研修等	初任研3年目	中堅研	中堅実助	中堅養教	免外
-------	--------	-----	------	------	----

研修会 番号	C0702	体育科・保健体育科研修会 中学校・高等学校 ～全ての子供が運動の楽しさを知り、生涯にわたり運動に親しむ態度を育む授業づくり～	申込必要 [定員 20 名]
-----------	-------	---	-------------------

目的・ねらい	中学校・高等学校体育科の今日的な課題についての理解を深めるとともに、専門的な体育の知識や運動技術を学び、その解決策を協働的に探り、指導力の向上を図る。
--------	---

【受講対象者】

設立区分	校種							
県立等	中学校	高等学校	特支幼稚園部	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	学校以外
市町村立	幼稚園等	小学校	小(義・併)	中学校	中(義・併)	高等学校	学校以外	
仙台市立	幼稚園等	中等教育学校	高等学校	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	
私立	幼稚園等	小学校	中学校	高等学校	特支高等部	特支他		
その他	聴講(農業大学校・仙台高等専門学校・宮教大附属のみ)							

職種							
校長	副校長	教頭	主幹教諭	教諭	養護教諭	栄養教諭	栄養職員
実習助手	寄宿舎指導員	講師	事務(事務等)	事務(指主等)	幼稚園教諭	その他	

【研修内容】

会場: 仙台大学	9月9日(水)	実技・演習	小・中・高等学校の系統性を踏まえた授業づくり～球技(ネット型・バドミントン)～ 講師:仙台大学 教授等
	9月15日(火)	実技・演習	小・中・高等学校の系統性を踏まえた授業づくり～武道(剣道)～ 講師:仙台大学 教授等
		講義	運動の二極化の改善 県内小・中・高等学校教諭、総合教育センター指導主事
会場: 仙台大学	9月15日(火)	実技・演習	小・中・高等学校の系統性を踏まえた授業づくり～陸上競技(跳躍種目・走り高跳び)～ 講師:仙台大学 教授等
		講義・演習	授業におけるICTの効果的な活用 講師:仙台大学 教授等
	事前・事後の eラーニング		協議

【PR・連絡等】

小・中・高等学校の系統性を踏まえた授業づくりや、児童生徒の運動への意欲が高まる授業づくりについて学んでいきます。
校種の異なる教員、学生と共に活動や協議し、互いに教科指導力を高めていきます。

本研修会は、仙台大学と連携し、教員を目指す学生と共に学ぶ研修会です。
※1日目午後の「実技・演習」以外は小・中・高等学校合同の研修です。
※免許外で保健体育科を担当している主幹教諭・教諭で保健体育に関わる担当経験1年目は悉皆受講です。

専門研修

みやぎの教員に 求められる 資質能力 (指標)	指標経験段階	基礎形成期	資質成長期	資質充実期	深化発展期									
	指標資質能力 ※研修計画p.1を参照	教諭 栄教	授業 理解	指導 支え	養教	管理 理解	教育 支え	健・保	幼教等	指導 支え	指導 子供	管理職等	素養 組織 育成	経営 連携
		意欲・人間性		情熱			人間		研鑽					

希望研修

選択研修等	初任研3年目	中堅研	中堅実助	中堅養教	免外
-------	--------	-----	------	------	----

研修会 番号	C0801	技術科研修会(免許外担当者支援コース) ～持続可能な社会を構築する資質・能力を育む技術科教育～	申込必要 [定員 20 名]
-----------	-------	--	-------------------

目的・ねらい	技術分野の理論と実技研修を通して、指導内容と指導法についての理解を深め、指導力の向上を図る。
--------	--

【受講対象者】

設立区分	校種							
県立等	中学校	高等学校	特支幼稚部	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	学校以外
市町村立	幼稚園等	小学校	小(義・併)	中学校	中(義・併)	高等学校	学校以外	
仙台市立	幼稚園等	中等教育学校	高等学校	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	
私立	幼稚園等	小学校	中学校	高等学校	特支高等部	特支他		
その他	聴講(農業大学校・仙台高等専門学校・宮教大附属のみ)							

職種							
校長	副校長	教頭	主幹教諭	教諭	養護教諭	栄養教諭	栄養職員
実習助手	寄宿舎指導員	講師	事務(事務等)	事務(指主等)	幼稚園教諭	その他	

【研修内容】

5月8日(金)	講義・演習	技術分野の授業づくり①「B生物育成の技術」 講師:県内教員
	会場: 総合教育センター	
5月14日(木)	講義・演習	技術分野の授業づくり②「A材料と加工の技術」 講師:県内教員
	講義・演習	技術分野の授業づくり③「Cエネルギー変換の技術」 講師:県内教員
	講義・演習	技術分野の授業づくり④「D情報の技術」(計測・制御に関するプログラミングによる問題の解決) 講師:県内教員
事前・事後の eラーニング	特になし	技術分野の授業づくり⑤「D情報の技術」(ネットワークを利用した双方向性のあるプログラミングによる問題の解決) 講師:県内教員

【PR・連絡等】

技術・家庭科(技術分野)を免許外で担当している教員を対象に、技術分野の4つの内容について、ICTを活用した授業づくりから実技指導の留意点、評価の実際まで学びます。学習指導要領では、「ものづくり(製作・制作・育成)」が問題解決の手段として位置付けられ、学習過程が例示されました。このことを踏まえ、学習内容や授業の進め方など基礎から学べる内容としています。
対象は免許外で担当している先生ですが、改めて学び直したい技術免許所有の教員も受講できます。

※2日目の研修は、基本コースと合同で実施します。応用コースとあわせて3日間、受講することもできます。
※免許外で技術・家庭科を担当している主幹教諭・教諭で技術分野に関わる担当経験1年目は悉皆受講です。

専門研修

みやぎの教員に 求められる 資質能力 (指標)	指標経験段階	基礎形成期		資質成長期		資質充実期		深化発展期		管理職等 組織 育成	素養 経営 連携 育成		
	指標資質能力	教諭 栄教	授業 理解	指導 支え	養教	管理 理解	教育 支え	健・保	幼教等			指導 支え	子供
	※研修計画p.1を参照	意欲・人間性		情熱		人間		研鑽					

希望研修

選択研修等	初任研3年目	中堅研	中堅実助	中堅養教	免外
-------	--------	-----	------	------	----

研修会 番号	C0802	技術科研修会(基本コース) ～持続可能な社会を構築する資質・能力を育む技術科教育～	申込必要 [定員 20名]
-----------	-------	--	------------------

目的・ねらい	技術分野の理論と実技研修を通して、実践的な教材や指導法を共有することで、教員相互の指導力を高めるとともに、問題解決を取り入れた授業実践力を養う。
--------	--

【受講対象者】

設立区分	校種							
県立等	中学校	高等学校	特支幼稚部	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	学校以外
市町村立	幼稚園等	小学校	小(義・併)	中学校	中(義・併)	高等学校	学校以外	
仙台市立	幼稚園等	中等教育学校	高等学校	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	
私立	幼稚園等	小学校	中学校	高等学校	特支高等部	特支他		
その他	聴講(農業大学校・仙台高等専門学校・宮教大附属のみ)							

職種							
校長	副校長	教頭	主幹教諭	教諭	養護教諭	栄養教諭	栄養職員
実習助手	寄宿舎指導員	講師	事務(事務等)	事務(指主等)	幼稚園教諭	その他	

【研修内容】

会場: 総合教育センター	5月14日(木)	講義・演習	技術分野の授業づくり③「Cエネルギー変換の技術」 講師:県内教員
		講義・演習	技術分野の授業づくり④「D情報の技術」(計測・制御に関するプログラミングによる問題の解決) 講師:県内教員
		講義・演習	技術分野の授業づくり⑤「D情報の技術」(ネットワークを利用した双方向性のあるプログラミングによる問題の解決) 講師:県内教員
事前・事後の eラーニング		特になし	

【PR・連絡等】

「エネルギー変換の技術」「情報の技術」の授業づくり、実技指導の留意点、評価まで学びます。この2つの学習内容は、技術分野の学習内容の中でも題材(教材)の選定や問題解決的な授業の進め方が難しく、留意すべき事項が多くあります。特に「情報の技術」(2)「ネットワークを利用した双方向性のあるプログラミングによる問題の解決」は、様々な教材が使われるようになってきています。講義と実習を通して最新の知見と技能を修得することにより、指導力の向上をねらった内容となっています。
※C0801技術科研修会(免許外担当者支援コース)と合同で実施します。

専門研修

みやぎの教員に 求められる 資質能力 (指標)	指標経験段階	基礎形成期	資質成長期			資質充実期			深化発展期			素養 経営 組織 連携 育成	
	指標資質能力 ※研修計画p.1を参照	教諭 栄教	授業 理解	指導 支え	養教	管理 理解	教育 支え	健・保	幼教等	指導 支え	子供		管理職等
		意欲・人間性		情熱			人間		研鑽				

希望研修

選択研修等	初任研3年目	中堅研	中堅実助	中堅養教	免外
-------	--------	-----	------	------	----

研修会 番号	C0803	技術科研修会(応用コース) ～持続可能な社会を構築する資質・能力を育む技術科教育～	申込必要 [定員 20 名]
-----------	-------	--	-------------------

目的・ねらい	持続可能な社会の実現を見据え、最新の教育技術を取り入れた指導の具体例を学び、効果的な指導法と指導計画の工夫についての理解を深める。
--------	---

【受講対象者】

設立区分	校種							
県立等	中学校	高等学校	特支幼稚部	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	学校以外
市町村立	幼稚園等	小学校	小(義・併)	中学校	中(義・併)	高等学校	学校以外	
仙台市立	幼稚園等	中等教育学校	高等学校	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	
私立	幼稚園等	小学校	中学校	高等学校	特支高等部	特支他		
その他	聴講(農業大学校・仙台高等専門学校・宮教大附属のみ)							

職種							
校長	副校長	教頭	主幹教諭	教諭	養護教諭	栄養教諭	栄養職員
実習助手	寄宿舎指導員	講師	事務(事務等)	事務(指主等)	幼稚園教諭	その他	

【研修内容】

7月31日(金)	講義・演習	生成AIを効果的に活用した問題解決の授業づくり(仮) 講師:総合教育センター指導主事、県内中学校教諭、又は宮城教育大学 教授等
	講義・演習	「情報の技術」を有機的に関連させた「新しいものづくり」(仮) 講師:宮城教育大学 教授等
会場:	宮城教育大学	
事前・事後のeラーニング	特になし	

【PR・連絡等】

学習指導要領が重視する「有機的な関連」や「統合的な問題の解決」を踏まえ、生成AI等を活用した授業づくりにつながる講義・演習を行います。また、宮城教育大学との大学連携事業として実施し、充実した実習環境や豊富な知識を有する大学教員等から学ぶことで、授業改善に役立つ視点や発想を身に付けます。

※本研修会は、宮城教育大学と連携して実施します。教員を目指す学生と共に学びます。

みやぎの教員に 求められる 資質能力 (指標)	指標経験段階	基礎形成期		資質成長期	資質充実期	深化発展期								
	指標資質能力 ※研修計画p.1を参照	教諭 栄教	授業 理解	指導 支え	養教	管理 理解	教育 支え	健・保	幼教等	指導 支え	子供	管理職等	素養 組織 育成	経営 連携
		意欲・人間性		情熱			人間		研鑽					

希望研修

選択研修等	初任研3年目	中堅研	中堅実助	中堅養教	免外
-------	--------	-----	------	------	----

研修会 番号	C0901	家庭科研修会(免許外担当者支援コース) ~効果的な教科指導の基礎と実践を目指して~	申込必要 [定員 20名]
-----------	-------	--	------------------

目的・ねらい	家庭科教育の基礎理論や実技研修を通して、指導方法と評価についての理解を深め、実践的指導力の向上を図る。
--------	---

【受講対象者】

設立区分	校種							
県立等	中学校	高等学校	特支幼稚部	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	学校以外
市町村立	幼稚園等	小学校	小(義・併)	中学校	中(義・併)	高等学校	学校以外	
仙台市立	幼稚園等	中等教育学校	高等学校	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	
私立	幼稚園等	小学校	中学校	高等学校	特支高等部	特支他		
その他	聴講(農業大学校・仙台高等専門学校・宮教大附属のみ)							

職種							
校長	副校長	教頭	主幹教諭	教諭	養護教諭	栄養教諭	栄養職員
実習助手	寄宿舎指導員	講師	事務(事務等)	事務(指主等)	幼稚園教諭	その他	

【研修内容】

会場: 総合教育センター	5月14日(木)	講義・実習	家庭科の授業づくり①「特別教室の安全管理と安全指導について」(食生活) 講師:県内家庭科教諭
		講義・実習	家庭科の授業づくり②「特別教室の安全管理と安全指導について」(衣生活) 講師:県内家庭科教諭
		協議	家庭科を指導する上での課題等について 講師:総合教育センター指導主事
会場: 総合教育センター	6月11日(木)	講義・実習	ICTを活用した家庭科の授業づくり③ 内容A~C「学習計画と学習プリントの作成」(仮) 講師:県内家庭科教諭
		講義・演習	家庭科の授業づくり④内容A~C「分野を関連づけた指導の工夫」(仮) 講師:県内家庭科教諭
事前・事後の eラーニング		特になし	

【PR・連絡等】

免許外担当者を対象に家庭科に必要な基礎的な知識と技術を身に付ける研修です。小・中・高等学校家庭科の指導の具体を捉え、教科指導上の課題解決を図ります。

1日目は、内容Bの「食生活」と「衣生活」分野の実習や実験を安全に行うために必要な指導と実習室の管理について、実習を行いながら具体的に理解を深め、家庭科を指導する上で課題となりがち場面を想定しながら、協議します。

2日目は、午前は授業でのICTの活用方法等について学び、午後は分野横断的な指導の工夫について実習を通じて実践力を高めます。

※免許外で技術・家庭科を担当している主幹教諭・教諭で家庭分野に関わる担任経験1年目は悉皆受講となります。

※実習にかかる費用は自己負担となり、後日、振込等で納入になります。

専門研修

みやぎの教員に 求められる 資質能力 (指標)	指標経験段階	基礎形成期		資質成長期		資質充実期		深化発展期		管理職等	素養 組織 育成	経営 連携 育成		
	指標資質能力	教諭 栄教	授業 理解	指導 支え	養教	管理 理解	教育 支え	健・保	幼教等				指導 支え	子供
	※研修計画p.1を参照	意欲・人間性		情熱		人間		研鑽						

希望研修

選択研修等	初任研3年目	中堅研	中堅実助	中堅養教	免外
-------	--------	-----	------	------	----

研修会 番号	C0902	家庭科研修会(基本コース) ～生活の課題を探究し、未来を拓く授業実践力の向上～	申込必要 [定員 20名]
-----------	-------	--	------------------

目的・ねらい	現代社会の主要な視点を深く学び、衣食住に関する専門的な知識を現代の生活課題へと結びつける指導力を養う。また生徒の主体的な学びとより豊かな生活の実現を支援する指導の在り方を探究し、総合的な指導力の向上を図る。
--------	---

【受講対象者】

設立区分	校種							
県立等	中学校	高等学校	特支幼稚部	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	学校以外
市町村立	幼稚園等	小学校	小(義・併)	中学校	中(義・併)	高等学校	学校以外	
仙台市立	幼稚園等	中等教育学校	高等学校	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	
私立	幼稚園等	小学校	中学校	高等学校	特支高等部	特支他		
その他	聴講(農業大学校・仙台高等専門学校・宮教大附属のみ)							

職種							
校長	副校長	教頭	主幹教諭	教諭	養護教諭	栄養教諭	栄養職員
実習助手	寄宿舎指導員	講師	事務(事務等)	事務(指主等)	幼稚園教諭	その他	

【研修内容】

会場: 鶴ヶ谷市民センター	7月29日(水)	講義・演習	家庭科の授業づくり①内容C「自立した消費者を目指す授業づくりの実際Ⅰ」 講師:消費生活センター
		講義・演習	家庭科の授業づくり①内容C「自立した消費者を目指す授業づくりの実際Ⅱ」 講師:仙台市立中学校教諭等
		実践発表	家庭科の授業づくり②内容B「食育を踏まえた授業づくりの実際」 講師:仙台市立小学校 教諭、栄養教諭等
		講義・演習	家庭科の授業づくり②「はじめの一歩～楽しくものづくり～」 講師:仙台市立小学校 教諭、栄養教諭等
会場: 総合教育センター	9月30日(水)	講義・実習	家庭科の授業づくり③内容B「実践から生活につながる調理実習～国民食を手作りしてみよう～」 講師:東北生活文化大学 家政学部 教授 川俣 幸一 氏
		講義・演習	家庭科の授業づくり④内容B「ウェルビーイングと生活教育～未来はみんなで作るもの やってみようSDGs～」(仮) 講師:民間企業
事前・事後の eラーニング		特になし	

【PR・連絡等】

全校種合同で、教科指導上の課題解決を図る研修です。2日間の研修を通して、現代の課題や社会に求められる家庭科としての情報を更新できる内容で構成しています。

1日目は、仙台市教育センターと共催で、授業で求められる消費者教育や食育について、小中学校の授業を想定し、授業の充実と指導力の向上を目指します。

2日目は、内容B「衣食住」分野の、家庭科に求められるウェルビーイングの視点を取り入れた内容で、講義と授業で取り入れたい実習や演習を行います。

対象となる指標経験段階を示していますが、それ以外でも受講できます。

※実習にかかる費用は自己負担となり、後日、振込等で納入になります。

専門研修

みやぎの教員に 求められる 資質能力 (指標)	指標経験段階	基礎形成期	資質成長期	資質充実期	深化発展期									
	指標資質能力 ※研修計画p.1を参照	教諭 栄教	授業 理解	指導 支え	養教	管理 理解	教育 支え	健・保	幼教等	指導 支え	子供	管理職等	素養 組織 育成	経営 連携
		意欲・人間性		情熱			人間		研鑽					

希望研修

選択研修等	初任研3年目	中堅研	中堅実助	中堅養教	免外
-------	--------	-----	------	------	----

研修会 番号	C0903	家庭科研修会(応用コース) ～生活をデザインする実践的指導力の確立を目指して～	申込必要 [定員 20名]
-----------	-------	--	------------------

目的・ねらい	専門性を磨き、授業から生活が具現化できる力を身に付け、児童・生徒の「生きる力」を最大限に引き出す実践的な教科指導の在り方について理解を深め、指導力の更なる向上を図る。
--------	---

【受講対象者】

設立区分	校種							
県立等	中学校	高等学校	特支幼稚部	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	学校以外
市町村立	幼稚園等	小学校	小(義・併)	中学校	中(義・併)	高等学校	学校以外	
仙台市立	幼稚園等	中等教育学校	高等学校	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	
私立	幼稚園等	小学校	中学校	高等学校	特支高等部	特支他		
その他	聴講(農業大学校・仙台高等専門学校・宮教大附属のみ)							

職種							
校長	副校長	教頭	主幹教諭	教諭	養護教諭	栄養教諭	栄養職員
実習助手	寄宿舎指導員	講師	事務(事務等)	事務(指主等)	幼稚園教諭	その他	

【研修内容】

8月4日(火)	講義・演習	家庭科の授業づくり①「地域とつながる家庭科の授業実践」(仮) 講師:県内教諭
	講義・演習	家庭科の授業づくり②「生活をデザインする力を育む家庭科教育」～東北のファブリックデザイン～ 講師:東北生活文化大学 家政学部 教授 川又 勝子 氏
11月4日(水)	講義・実習	家庭科の授業づくり③「防災・減災と家庭科教育」(仮) 講師:ボランティア団体
	講義・実習	家庭科の授業づくり④「家庭科教育で育むSDGs」～地域コミュニティとアップサイクル～ 講師:民間企業
会場: 総合教育センター		
会場: 総合教育センター		
事前・事後の eラーニング	特になし	

【PR・連絡等】

<p>全校種合同で、教科指導上の課題解決を図り、指導方法の工夫・改善と更なる向上を目指す研修です。2日間の研修を通して、授業で活用できる新しい教材について考え、これからの社会に求められる家庭科教育を目指します。</p> <p>1日目は、地域社会や産業界と連携し、演習を通して多角的な視点から専門性を高めます。</p> <p>2日目は、家庭科教育に求められている防災と地域に焦点を当て、課題解決型学習を深化させるための知見を養います。</p> <p>対象となる指標経験段階を示していますが、それ以外でも受講できます。</p> <p>※実習にかかる費用は自己負担となり、後日、振込等で納入になります。</p>
--

専門研修

みやぎの教員に 求められる 資質能力 (指標)	指標経験段階	基礎形成期	資質成長期	資質充実期	深化発展期									
	指標資質能力 ※研修計画p.1を参照	教諭 栄教	授業 理解	指導 支え	養教	管理 理解	教育 支え	健・保	幼教等	指導 支え	子供	管理職等	素養 組織 育成	経営 連携
		意欲・人間性		情熱			人間		研鑽					

希望研修

選択研修等	初任研3年目	中堅研	中堅実助	中堅養教	免外
-------	--------	-----	------	------	----

研修会 番号	C1001	英語科研修会 小学校 ～小・中・高の系統性を踏まえた言語活動における指導と評価～	申込必要 [定員 30名]
-----------	-------	---	------------------

目的・ねらい	小・中・高の円滑な接続に向けた指導方法等を共有し、校種間の連携を強化するとともに、言語活動における指導と評価の理解を深め、授業力の向上を図る。大学との連携によって先進的な取組に触れ、学生と意見交流して、多角的な視点を取り入れた授業づくりを目指す。
--------	---

【受講対象者】

設立区分	校種							
県立等	中学校	高等学校	特支幼稚部	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	学校以外
市町村立	幼稚園等	小学校	小(義・併)	中学校	中(義・併)	高等学校	学校以外	
仙台市立	幼稚園等	中等教育学校	高等学校	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	
私立	幼稚園等	小学校	中学校	高等学校	特支高等部	特支他		
その他	聴講(農業大学校・仙台高等専門学校・宮教大附属のみ)							

職種							
校長	副校長	教頭	主幹教諭	教諭	養護教諭	栄養教諭	栄養職員
実習助手	寄宿舎指導員	講師	事務(事務等)	事務(指主等)	幼稚園教諭	その他	

【研修内容】

会場: 東北学院大学	7月30日(木)	講義・演習	小・中・高の系統性を踏まえた言語活動における指導と評価(仮) 講師:東北学院大学 教授 村野井 仁 氏
		演習	言語活動を主とした授業づくり(校種別) 講師:東北学院大学 教授
		協議	ICTを活用した授業づくり、評価とフィードバックの工夫などの実践紹介・情報交換(校種混合) 講師:総合教育センター指導主事
事前・事後の eラーニング	1日目の事前		研修の詳細説明等

【PR・連絡等】

<p>C1001、C1002、C1003の合同開催となります。午前の講義・演習は全校種合同で行います。午後の演習は校種別、協議は校種混合のグループで行います。</p> <p>本研修会は、東北学院大学と連携し、教員を目指す学生と共に学ぶ研修会です。</p> <p>対象となる指標経験段階を示していますが、それ以外でも受講できます。</p> <p>※本研修会は事前にPlantによるスライドの閲覧や動画の視聴が必要となります。</p>

専門研修

みやぎの教員に 求められる 資質能力 (指標)	指標経験段階	基礎形成期		資質成長期		資質充実期		深化発展期		管理職等	素養 組織 育成	経営 連携 育成		
	指標資質能力	教諭 栄教	授業 理解	指導 支え	養教	管理 理解	教育 支え	健・保	幼教等				指導 支え	子供
	※研修計画p.1を参照	意欲・人間性		情熱		人間		研鑽						

希望研修

選択研修等	初任研3年目	中堅研	中堅実助	中堅養教	免外
-------	--------	-----	------	------	----

研修会 番号	C1002	英語科研修会 中学校 ～小・中・高の系統性を踏まえた言語活動における指導と評価～	申込必要 [定員 30 名]
-----------	-------	---	-------------------

目的・ねらい	小・中・高の円滑な接続に向けた指導方法等を共有し、校種間の連携を強化するとともに、言語活動における指導と評価の理解を深め、授業力の向上を図る。大学との連携によって先進的な取組に触れ、学生と意見交流して、多角的な視点を取り入れた授業づくりを目指す。
--------	---

【受講対象者】

設立区分	校種							
県立等	中学校	高等学校	特支幼稚部	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	学校以外
市町村立	幼稚園等	小学校	小(義・併)	中学校	中(義・併)	高等学校	学校以外	
仙台市立	幼稚園等	中等教育学校	高等学校	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	
私立	幼稚園等	小学校	中学校	高等学校	特支高等部	特支他		
その他	聴講(農業大学校・仙台高等専門学校・宮教大附属のみ)							

職種							
校長	副校長	教頭	主幹教諭	教諭	養護教諭	栄養教諭	栄養職員
実習助手	寄宿舎指導員	講師	事務(事務等)	事務(指主等)	幼稚園教諭	その他	

【研修内容】

会場: 東北学院大学	7月30日(木)	講義・演習	小・中・高の系統性を踏まえた言語活動における指導と評価(仮) 講師:東北学院大学 教授 村野井 仁 氏
		演習	言語活動を主とした授業づくり(校種別) 講師:東北学院大学 教授
		協議	ICTを活用した授業づくり、評価とフィードバックの工夫などの実践紹介・情報交換 (校種混合) 講師:総合教育センター指導主事
事前・事後の eラーニング	1日目の事前		研修の詳細説明等

【PR・連絡等】

<p>C1001、C1002、C1003の合同開催となります。午前の講義・演習は全校種合同で行います。午後の演習は校種別、協議は校種混合のグループで行います。</p> <p>本研修会は、東北学院大学と連携し、教員を目指す学生と共に学ぶ研修会です。</p> <p>対象となる指標経験段階を示していますが、それ以外でも受講できます。</p> <p>※本研修会は事前にPlantによるスライドの閲覧や動画の視聴が必要となります。</p> <p>※免許外で英語科を担当する主幹教諭・教諭で英語科に関わる担任経験1年目は悉皆受講です。</p>
--

専門研修

みやぎの教員に 求められる 資質能力 (指標) ※研修計画p.1を参照	指標経験段階	基礎形成期	資質成長期			資質充実期			深化発展期			素養 経営 組織 連携 育成	
	指標資質能力	教諭 栄教	授業 理解	指導 支え	養教	管理 理解	教育 支え	健・保	幼教等	指導 支え	子供		管理職等
		意欲・人間性		情熱			人間		研鑽				

希望研修

選択研修等	初任研3年目	中堅研	中堅実助	中堅養教	免外
-------	--------	-----	------	------	----

研修会 番号	C1003	英語科研修会 高等学校 ～小・中・高の系統性を踏まえた言語活動における指導と評価～	申込必要 [定員 30名]
-----------	-------	--	------------------

目的・ねらい	小・中・高の円滑な接続に向けた指導方法等を共有し、校種間の連携を強化するとともに、言語活動における指導と評価の理解を深め、授業力の向上を図る。大学との連携によって先進的な取組に触れ、学生と意見交流して、多角的な視点を取り入れた授業づくりを目指す。
--------	---

【受講対象者】

設立区分	校種							
県立等	中学校	高等学校	特支幼稚部	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	学校以外
市町村立	幼稚園等	小学校	小(義・併)	中学校	中(義・併)	高等学校	学校以外	
仙台市立	幼稚園等	中等教育学校	高等学校	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	
私立	幼稚園等	小学校	中学校	高等学校	特支高等部	特支他		
その他	聴講(農業大専校・仙台高等専門学校・宮教大附属のみ)							

職種							
校長	副校長	教頭	主幹教諭	教諭	養護教諭	栄養教諭	栄養職員
実習助手	寄宿舎指導員	講師	事務(事務等)	事務(指主等)	幼稚園教諭	その他	

【研修内容】

会場: 東北学院大学	7月30日(木)	講義・演習	小・中・高の系統性を踏まえた言語活動における指導と評価(仮) 講師:東北学院大学 教授 村野井 仁 氏
		演習	言語活動を主とした授業づくり(校種別) 講師:東北学院大学 教授
		協議	ICTを活用した授業づくり、評価とフィードバックの工夫などの実践紹介・情報交換(校種混合) 講師 総合教育センター指導主事
事前・事後の eラーニング	1日目の事前		研修の詳細説明等

【PR・連絡等】

<p>C1001、C1002、C1003の合同開催となります。午前の講義・演習は全校種合同で行います。午後の演習は校種別、協議は校種混合のグループで行います。</p> <p>本研修会は、東北学院大学と連携し、教員を目指す学生と共に学ぶ研修会です。</p> <p>対象となる指標経験段階を示していますが、それ以外でも受講できます。</p> <p>※本研修会は事前にPlantによるスライドの閲覧や動画の視聴が必要となります。</p>

みやぎの教員に 求められる 資質能力 (指標) ※研修計画p.1を参照	指標経験段階	基礎形成期		資質成長期		資質充実期		深化発展期		管理職等 素養 組織 育成	経営 連携 育成		
	指標資質能力	教諭 栄教	授業 理解	指導 支え	養教	管理 理解	教育 支え	健・保	幼教等			指導 支え	子供
		意欲・人間性		情熱		人間		研鑽					

悉皆研修(一部希望可)

学校悉皆 各学校【小学校外国語専科教員と中学校及び義務教育学校(後期課程)英語科教員】の1名

研修会 番号	C1004	外国語指導力向上研修会 ～外国語における主体的・対話的で深い学びの充実を目指した授業づくり～	申込必要
-----------	-------	---	------

目的・ねらい	本県の英語教育の現状を把握し、外国語指導における課題を明確にするとともに、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、言語活動を主とした授業づくりを通して、教員の更なる指導力向上を図る。
--------	--

【受講対象者】

設立区分	校種							
県立等	中学校	高等学校	特支幼稚部	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	学校以外
市町村立	幼稚園等	小学校	小(義・併)	中学校	中(義・併)	高等学校	学校以外	
仙台市立	幼稚園等	中等教育学校	高等学校	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	
私立	幼稚園等	小学校	中学校	高等学校	特支高等部	特支他		
その他	聴講(農業大学校・仙台高等専門学校・宮教大附属のみ)							

職種							
校長	副校長	教頭	主幹教諭	教諭	養護教諭	栄養教諭	栄養職員
実習助手	寄宿舎指導員	講師	事務(事務等)	事務(指主等)	幼稚園教諭	その他	

【研修内容】

6月24日(水)		(午後からの研修)
	講話	「主体的・対話的で深い学び」の視点における指導の在り方(仮) 講師 県教育委員会指導主事
	実践発表	言語活動を主とした授業づくりの実践(仮) 講師 県内小中学校教諭
11月6日(金)	講義	全国学力・学習状況調査から見えること(仮) 講師 文部科学省 国立教育政策研究所 学力調査官 贄田 悠 氏
	ワークショップ	求められる英語力と授業づくりの具体(仮)
会場: 東北自治総合研修センター		
事前・事後の eラーニング	1日目の事前	文部科学省/mextchannelの視聴(予定)
	2日目の事前	全国学力・学習状況調査や英語教育実施状況調査等の結果分析から見えること 動画視聴(予定)

【PR・連絡等】

各学校【小学校外国語専科教員と中学校及び義務教育学校(後期課程)英語科教員】の1名悉皆となります。
 事前研修のeラーニング(オンデマンド研修)＜1日目、2日目の両日＞は、【小学校外国語専科教員と中学校及び義務教育学校(後期課程)英語科教員】の全員悉皆となります。
 1日目はオンライン研修(午後の半日開催)、2日目は集合型研修(1日開催)となります。2日間の研修を通して、言語活動、ICTの活用、ALTとの連携を効果的に取り入れた授業づくりについて理解を深め、授業改善につなげます。研修会の詳細内容については、後日、お知らせします。
 ※本研修会の申込はPlantを使用しません。申込方法は、4月以降発出する案内文書をご確認ください。

みやぎの教員に求められる資質能力(指標) ※研修計画p.1を参照	指標経験段階	基礎形成期		資質成長期		資質充実期		深化発展期		管理職等 素養 組織 連携 育成	
	指標資質能力	教諭 栄教	授業 理解	指導 支え	養教	管理 理解	教育 支え	健・保	幼教等		指導 支え
		意欲・人間性		情熱		人間		研鑽			

悉皆研修

学校悉皆 高等学校、中等教育学校の英語担当教員1名以上が学校悉皆となります。定時制・分校についても各校から必ず1名参加してください。

研修会番号	C1005	発信型英語指導力向上研修会 ～生徒の発信力向上を目指した指導方法の工夫～	申込必要
-------	-------	---	------

目的・ねらい	高等学校における英語教育の課題、授業改善の方向性を捉えるとともに、生徒の英語による発信力向上を目的とした実践的な研修を通して、指導方法の工夫・改善と指導力の向上を図る。
--------	--

【受講対象者】

設立区分	校種							
県立等	中学校	高等学校	特支幼稚部	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	学校以外
市町村立	幼稚園等	小学校	小(義・併)	中学校	中(義・併)	高等学校	学校以外	
仙台市立	幼稚園等	中等教育学校	高等学校	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	
私立	幼稚園等	小学校	中学校	高等学校	特支高等部	特支他		
その他	聴講(農業大学校・仙台高等専門学校・宮教大附属のみ)							

職種							
校長	副校長	教頭	主幹教諭	教諭	養護教諭	栄養教諭	栄養職員
実習助手	寄宿舎指導員	講師	事務(事務等)	事務(指主等)	幼稚園教諭	その他	

【研修内容】

会場: 総合教育センター	9月8日(火)	講義	生徒の発信力向上を目指した授業づくり～AI時代に求められる生徒の英語力～(仮) 講師:上智大学 言語教育研究センター長 藤田 保 氏
		説明	本県の英語教育の課題と本研修会の目的 高校教育課指導主事
		ワークショップ	言語活動を主とした授業づくり1 講師:県内高等学校教諭
会場: 総合教育センター	9月29日(火)	ワークショップ	言語活動を主とした授業づくり2 講師:県内高等学校教諭、総合教育センター指導主事
		ワークショップ	言語活動を主とした授業づくり(発表) 講師:県内高等学校教諭、総合教育センター指導主事
事前・事後のeラーニング	1日目の事前		研修の実施内容等

【PR・連絡等】

本研修会は、令和6年度まで県教育委員会、仙台市教育委員会及び石巻市教育委員会主催で行っていた研修会です。県内の公立高等学校及び中等教育学校後期課程の英語担当教員の悉皆となっています。各校1名、2日間での参加を原則とします。英語科の教諭が複数人在籍する学校については、できるだけ前年度とは異なる先生が参加するようにしてください。1日目の研修では、高等学校の英語教育における課題を踏まえた講義の後に、ICTを活用した授業づくりをワークショップ形式で行います。2日目の研修の最後には、模擬授業等の発表を行っていただきます。※本研修会の詳細については、事前にPlantで確認してください。

専門研修

みやぎの教員に 求められる 資質能力 (指標)	指標経験段階	基礎形成期	資質成長期	資質充実期	深化発展期									
	指標資質能力 ※研修計画p.1を参照	教諭 栄教	授業 理解	指導 支え	養教	管理 理解	教育 支え	健・保	幼教等	指導 支え	子供	管理職等	素養 組織 育成	経営 連携
		意欲・人間性		情熱			人間		研鑽					

希望研修

選択研修等	初任研3年目	中堅研	中堅実助	中堅養教	免外
-------	--------	-----	------	------	----

研修会 番号	C1100	情報科研修会 高等学校 ～情報社会に主体的に参画するための資質・能力を育成するためには～	申込必要 [定員 30 名]
-----------	-------	---	-------------------

目的・ねらい	共通教科情報科の指導における必要な知識・技術の習得を通して、情報科目担当教員として指導力の向上を図る。
--------	---

【受講対象者】

設立区分	校種							
県立等	中学校	高等学校	特支幼稚部	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	学校以外
市町村立	幼稚園等	小学校	小(義・併)	中学校	中(義・併)	高等学校	学校以外	
仙台市立	幼稚園等	中等教育学校	高等学校	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	
私立	幼稚園等	小学校	中学校	高等学校	特支高等部	特支他		
その他	聴講(農業大学校・仙台高等専門学校・宮教大附属のみ)							

職種							
校長	副校長	教頭	主幹教諭	教諭	養護教諭	栄養教諭	栄養職員
実習助手	寄宿舎指導員	講師	事務(事務等)	事務(指主等)	幼稚園教諭	その他	

【研修内容】

会場: 総合教育センター	7月6日(月)	講義・演習	今求められている情報活用能力を目指した授業改善 講師:山梨大学教育学部 准教授 稲垣 俊介 氏
		実践発表	共通教科『情報Ⅰ』の指導の実際 講師:県内高校教諭等
		協議	共通教科情報科における指導について 講師:総合教育センター指導主事
事前・事後の eラーニング		特になし	

【PR・連絡等】

<p>午前、今求められている生徒の情報活用能力の育成についての理解を深め、共通教科情報科の視点からの授業改善について、講義・演習を通して学びます。</p> <p>午後は、県内の共通教科情報科の教員から実際の指導について、発表します。その発表を基に、自校での指導について、グループでの協議を通して考え、指導力の向上を図ります。</p>
--

専門研修

みやぎの教員に 求められる 資質能力 (指標) ※研修計画p.1を参照	指標経験段階	基礎形成期	資質成長期	資質充実期	深化発展期									
	指標資質能力	教諭 栄教	授業 理解	指導 支え	養教	管理 理解	教育 支え	健・保	幼教等	指導 支え	子供	管理職等	素養 組織 育成	経営 連携
		意欲・人間性		情熱			人間		研鑽					

希望研修

選択研修等	初任研3年目	中堅研	中堅実助	中堅養教	免外
-------	--------	-----	------	------	----

研修会 番号	C1211	産業教育研修会 高等学校 ～未来志向型アントレプレナーシップ教育プログラム体験を通して～	申込必要 [定員 40 名]
-----------	-------	---	-------------------

目的・ねらい	産業界のグローバル化やICTの進歩などを踏まえ、産業教育における先進的な知識・技能を高めると共に、アントレプレナーシップ教育についての理解を深め、産業人材を育成するために必要な教員の資質の向上を図る。
--------	--

【受講対象者】

設立区分	校種							
県立等	中学校	高等学校	特支幼稚部	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	学校以外
市町村立	幼稚園等	小学校	小(義・併)	中学校	中(義・併)	高等学校	学校以外	
仙台市立	幼稚園等	中等教育学校	高等学校	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	
私立	幼稚園等	小学校	中学校	高等学校	特支高等部	特支他		
その他	聴講(農業大学校・仙台高等専門学校・宮教大附属のみ)							

職種							
校長	副校長	教頭	主幹教諭	教諭	養護教諭	栄養教諭	栄養職員
実習助手	寄宿舎指導員	講師	事務(事務等)	事務(指主等)	幼稚園教諭	その他	

【研修内容】

9月15日(火)	講義・演習	未来志向型アントレプレナーシップ教育について 講師:大学教員
	講義・実習	最新技術の体験会 講師:大学教員
	会場: 宮城大学	
事前・事後の eラーニング	特になし	

【PR・連絡等】

<p>大学教員による講義・演習、実習を通して、産業教育の充実に資する研修会です。産業界のグローバル化やICTの進歩などを踏まえ、産業教育における先進的な知識・技能を高めること、アントレプレナーシップ教育の考え方について理解を深めることができる内容を予定しています。</p> <p>産業教育に関わる専門高校の教員の他、普通高校の教員の参加も可能としています。</p> <p>対象となる指標経験段階を示していますが、それ以外でも受講できます。</p>

みやぎの教員に 求められる 資質能力 (指標)	指標経験段階	基礎形成期	資質成長期	資質充実期	深化発展期									
	指標資質能力 ※研修計画p.1を参照	教諭 栄教	授業 理解	指導 支え	養教	管理 理解	教育 支え	健・保	幼教等	指導 支え	子供	管理職等	素養 組織 育成	経営 連携
		意欲・人間性		情熱			人間		研鑽					

希望研修

選択研修等

初任研3年目

中堅研

中堅実助

中堅養教

免外

研修会 番号	C1301	「総合的な探究の時間」研修会 ～指導力の向上を目指して～	申込必要 [定員 40名]
-----------	-------	---------------------------------	------------------

目的・ねらい	「総合的な探究の時間」において生徒の学びを深めるための指導力及び、学外のリソースを活用するカリキュラム・マネジメントを行うスキルと姿勢を身に付けることを目的とする。
--------	--

【受講対象者】

設立区分	校種							
県立等	中学校	高等学校	特支幼稚部	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	学校以外
市町村立	幼稚園等	小学校	小(義・併)	中学校	中(義・併)	高等学校	学校以外	
仙台市立	幼稚園等	中等教育学校	高等学校	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	
私立	幼稚園等	小学校	中学校	高等学校	特支高等部	特支他		
その他	聴講(農業大学校・仙台高等専門学校・宮教大附属のみ)							

職種							
校長	副校長	教頭	主幹教諭	教諭	養護教諭	栄養教諭	栄養職員
実習助手	寄宿舎指導員	講師	事務(事務等)	事務(指主等)	幼稚園教諭	その他	

【研修内容】

7月30日(木)	講義	生徒の学びを深める「総合的な探究の時間」のデザインと手法 講師:大正大学 教授 稲井 達也 氏
	実践発表・演習	生徒の学びを深める「総合的な探究の時間」 講師:県内高等学校の主幹教諭又は教諭、総合教育センター指導主事
	会場:	総合教育センター
9月15日(火)	講義	学校を巻き込む「総合的な探究の時間」のデザインと手法 講師:大正大学 教授 稲井 達也 氏
	実践発表・演習	組織で運営する「総合的な探究の時間」 講師:県内高等学校の主幹教諭又は教諭、総合教育センター指導主事
	会場:	総合教育センター
事前・事後の eラーニング	特になし	

【PR・連絡等】

<p>1日目の講義と実践発表・演習では、生徒の学びを深める「総合的な探究の時間」のポイントについて学びます。 2日目の講義と実践発表・演習では、学校全体を巻き込んで作る「総合的な探究の時間」のポイントを学びます。</p> <p>※本研修会は、学校又は学年の中核として「総合的な探究の時間」を企画・運営している先生を対象にしていますが、それ以外の先生も受講できます。</p>
--

みやぎの教員に 求められる 資質能力 (指標)	指標経験段階	基礎形成期	資質成長期	資質充実期	深化発展期									
	指標資質能力 ※研修計画p.1を参照	教諭 栄教	授業 理解	指導 支え	養教	管理 理解	教育 支え	健・保	幼教等	指導 支え	子供	管理職等	素養 組織 育成	経営 連携
		意欲・人間性		情熱			人間		研鑽					

希望研修

選択研修等	初任研3年目	中堅研	中堅実助	中堅養教	免外
-------	--------	-----	------	------	----

研修会 番号	C1400	道徳教育研修会 小学校・中学校 ～豊かな心を育む道徳教育と道徳科の授業づくり～	申込必要
			[定員 120 名]

目的・ねらい	道徳科の授業づくりと評価についての講義と、授業づくりに関する演習を通して、道徳科の指導力向上を図る。
--------	--

【受講対象者】

設立区分	校種							
県立等	中学校	高等学校	特支幼稚部	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	学校以外
市町村立	幼稚園等	小学校	小(義・併)	中学校	中(義・併)	高等学校	学校以外	
仙台市立	幼稚園等	中等教育学校	高等学校	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	
私立	幼稚園等	小学校	中学校	高等学校	特支高等部	特支他		
その他	聴講(農業大学校・仙台高等専門学校・宮教大附属のみ)							

職種							
校長	副校長	教頭	主幹教諭	教諭	養護教諭	栄養教諭	栄養職員
実習助手	寄宿舎指導員	講師	事務(事務等)	事務(指主等)	幼稚園教諭	その他	

【研修内容】

7月27日(月)	講義	道徳科の授業づくりと評価(仮) 講師:文部科学省 教科調査官 堀田 竜次 氏(予定)
	演習	道徳科の協働による授業づくり(仮) 担当:総合教育センター指導主事 指導講評:文部科学省 教科調査官 堀田 竜次 氏(予定)
会場: 総合教育センター		
事前・事後の eラーニング	1日目の事前	NITSオンライン講座校内研修シリーズNo.147 「道徳科に求められる評価」

【PR・連絡等】

<p>道徳科の授業づくり(ICTの活用を含む)と評価について、講義を通して理解を深めます。 授業づくり演習では、同一教材を使用し、ねらいに迫る発問や授業展開を構想し検討します。意見交換を通して協働の授業づくりを行います。 対象となる指標経験段階を示していますが、それ以外でも受講できます。</p> <p>※本研修は、事前にPlantによる動画の視聴が必要になります。詳細は研修日の1か月前までに、総合教育センターホームページに掲載します。</p>

専門研修

みやぎの教員に求められる資質能力(指標) ※研修計画p.1を参照	指標経験段階	基礎形成期	資質成長期	資質充実期	深化発展期									
	指標資質能力	教諭 栄教	授業 理解	指導 支え	養教	管理 理解	教育 支え	健・保	幼教等	指導 支え	指導 子供	管理職等	素養 組織 育成	経営 連携
		意欲・人間性		情熱			人間		研鑽					

学校悉皆
 県内の公立高等学校及び中等教育学校後期課程の道徳教育推進教師等、各校(定時制・分校を含む)1名悉皆。ただし、今年度の道徳教育推進教師が令和6年度以降の道徳教育指導者研修会に参加している場合、生徒指導主事や特別活動の担当者が参加する。

悉皆研修(一部希望可)

研修会番号	C1401	道徳教育指導者研修会 高等学校 ~高等学校における道徳教育の充実に向けて~	申込必要
-------	-------	--	------

目的・ねらい	道徳教育推進教師等に求められる役割及び教科指導や特別活動における道徳教育について理解を深め、各校の道徳教育の充実に役立てる。
--------	--

【受講対象者】

設立区分	校種							
県立等	中学校	高等学校	特支幼稚部	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	学校以外
市町村立	幼稚園等	小学校	小(義・併)	中学校	中(義・併)	高等学校	学校以外	
仙台市立	幼稚園等	中等教育学校	高等学校	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	
私立	幼稚園等	小学校	中学校	高等学校	特支高等部	特支他		
その他	聴講(農業大学校・仙台高等専門学校・宮教大附属のみ)							

職種							
校長	副校長	教頭	主幹教諭	教諭	養護教諭	栄養教諭	栄養職員
実習助手	寄宿舎指導員	講師	事務(事務等)	事務(指主等)	幼稚園教諭	その他	

【研修内容】

10月14日(水)		(午後からの研修)
	講義	学校全体で取り組む道徳教育の充実に向けて(仮) 講師:高校教育課指導主事、総合教育センター指導主事(予定)
	研究協議	各校の道徳教育の推進状況について(仮) 講師:総合教育センター指導主事
事前・事後のeラーニング	特になし	

【PR・連絡等】

本研修会は、令和6年度まで県高校教育課主催で行っていた研修です。
 本研修会はリアルタイム・オンライン配信で実施します。
 公立特別支援学校については、道徳教育推進教師等各校1名まで希望があれば参加できます。

※研究協議では、事前提出のレポート等の課題があります。詳細は研修日の1か月前までに、総合教育センターホームページに掲載します。

みやぎの教員に 求められる 資質能力 (指標)	指標経験段階	基礎形成期	資質成長期	資質充実期	深化発展期	専門研修								
	指標資質能力 ※研修計画p.1を参照	教諭 栄教	授業 理解	指導 支え	養教	管理 理解	教育 支え	健・保	幼教等	指導 支え	指導 子供	管理職等	素養 組織 育成	経営 連携
		意欲・人間性		情熱			人間		研鑽					

悉皆研修

学校悉皆 県内の公立小学校、義務教育学校(前期課程)の道德教育推進教師等、各校1名悉皆。

研修会 番号	C1402	豊かな心を育む道德教育指導者研修会 ～道德教育推進教師の役割と実際の取組～	申込必要
-----------	-------	--	------

目的・ねらい	道德科を要とした道德教育推進の現状や課題を踏まえ、道德教育推進教師としての役割について理解するとともに、「考え、議論する道德」への授業改善を図るための具体的な取組について考え、自校での研修や実践に生かす。
--------	--

【受講対象者】

設立区分	校種							
県立等	中学校	高等学校	特支幼稚部	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	学校以外
市町村立	幼稚園等	小学校	小(義・併)	中学校	中(義・併)	高等学校	学校以外	
仙台市立	幼稚園等	中等教育学校	高等学校	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	
私立	幼稚園等	小学校	中学校	高等学校	特支高等部	特支他		
その他	聴講(農業大学校・仙台高等専門学校・宮教大附属のみ)							

職種							
校長	副校長	教頭	主幹教諭	教諭	養護教諭	栄養教諭	栄養職員
実習助手	寄宿舎指導員	講師	事務(事務等)	事務(指主等)	幼稚園教諭	その他	

【研修内容】

9月14日(月)		
会場:		(午後からの研修)
総合教育センター	講義	道德教育推進教師の役割と「考え、議論する道德」への授業改善(仮) 講師:東京学芸大学 教職大学院 准教授 浅部 航太 氏(予定)
	協議	道德教育推進教師として道德教育を推進する上での課題とその改善策(仮) 担当:総合教育センター指導主事
事前・事後の eラーニング	特になし	

【PR・連絡等】

<p>本研修会は、令和6年度まで県義務教育課主催で行っていた研修です。 道德教育推進教師の役割について、講義を通して理解を深めます。 協議では、参加者所属校の道德教育全体計画及び別業を用いて課題や改善策について話し合うことで、道德教育推進教師としての具体的な取組について考えます。</p> <p>※本研修の詳細については、研修日の1か月前までに総合教育センターホームページに掲載します。</p>

みやぎの教員に 求められる 資質能力 (指標) ※研修計画p.1を参照	指標経験段階	基礎形成期		資質成長期		資質充実期		深化発展期		管理職等 素養 組織 育成	経営 連携 育成		
	指標資質能力	教諭 栄教	授業 理解	指導 支え	養教	管理 理解	教育 支え	健・保	幼教等			指導 支え	子供
		意欲・人間性		情熱		人間		研鑽					

希望研修

選択研修等	初任研3年目	中堅研	中堅実助	中堅養教	免外
-------	--------	-----	------	------	----

研修会 番号	C1500	特別活動研修会 小学校・中学校 ～学校生活や学習の基盤となるよりよい集団づくりを目指して～	申込必要 [定員 50 名]
-----------	-------	--	-------------------

目的・ねらい	特別活動を通じた学校生活全体の基盤づくりについて理解を深めるとともに、学級活動の授業について演習を行うことで指導力向上を図る。
--------	---

【受講対象者】

設立区分	校種							
県立等	中学校	高等学校	特支幼稚部	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	学校以外
市町村立	幼稚園等	小学校	小(義・併)	中学校	中(義・併)	高等学校	学校以外	
仙台市立	幼稚園等	中等教育学校	高等学校	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	
私立	幼稚園等	小学校	中学校	高等学校	特支高等部	特支他		
その他	聴講(農業大学校・仙台高等専門学校・宮教大附属のみ)							
	職種							
	校長	副校長	教頭	主幹教諭	教諭	養護教諭	栄養教諭	栄養職員
	実習助手	寄宿舎指導員	講師	事務(事務等)	事務(指主等)	幼稚園教諭	その他	

【研修内容】

8月3日(月)	講義	多様な人々と協働し、よりよく生きる力を育む特別活動(仮) 講師:帝京大学 教授 安部 恭子 氏
	演習	学級活動の授業づくり(仮) 講師:帝京大学 教授 安部 恭子 氏
会場: 総合教育センター		
事前・事後の eラーニング	特になし	

【PR・連絡等】

<p>学校、学級づくりや人間関係形成能力の育成、社会参画や自己実現のために必要な力の育成を目指す特別活動について、講義や演習を通して学びます。午前の講義では、多様な人々と協働し、よりよく生きる力を育む特別活動について理解を深めます。午後の演習では、午前の講義を踏まえて講師の安部教授に指導助言をいただきながら授業づくりを行います。児童生徒の視点に立って話し合い活動を体験し、特別活動における指導力の向上を図ります。</p> <p>本研修会は隔年実施となります。今年度の次に特別活動研修会を開催するのは、令和10年度の予定です。</p>

専門研修

みやぎの教員に 求められる 資質能力 (指標)	指標経験段階	基礎形成期	資質成長期		資質充実期		深化発展期							
	指標資質能力 ※研修計画p.1を参照	教諭 栄教	授業 理解	指導 支え	養教	管理 理解	教育 支え	健・保	幼教等	指導 支え	子供	管理職等	素養 組織 育成	経営 連携
		意欲・人間性		情熱			人間		研鑽					

希望研修

選択研修等	初任研3年目	中堅研	中堅実助	中堅養教	免外
-------	--------	-----	------	------	----

研修会 番号	C1700	<p align="center">養護教諭スキルアップ研修会</p> <p align="center">～児童生徒を支える保健教育とメンタルヘルスの基礎知識～</p>	<p align="center">申込必要</p> <p align="center">[定員 100名]</p>
-----------	-------	--	--

目的・ねらい	複雑化・多様化する児童生徒の健康課題に対応するため、養護教諭としての専門性向上と、実践におけるスキルアップを図る。
--------	---

【受講対象者】

設立区分	校種							
県立等	中学校	高等学校	特支幼稚部	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	学校以外
市町村立	幼稚園等	小学校	小(義・併)	中学校	中(義・併)	高等学校	学校以外	
仙台市立	幼稚園等	中等教育学校	高等学校	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	
私立	幼稚園等	小学校	中学校	高等学校	特支高等部	特支他		
その他	聴講(農業大学校・仙台高等専門学校・宮教大附属のみ)							

職種							
校長	副校長	教頭	主幹教諭	教諭	養護教諭	栄養教諭	栄養職員
実習助手	寄宿舎指導員	講師	事務(事務等)	事務(指主等)	幼稚園教諭	その他	

【研修内容】

会場: 総合教育センター	11月27日(金)	講義・演習	主体的・対話的で深い学びを取り入れた保健教育の在り方(仮) 講師:東北福祉大学 福祉心理学科 准教授 鎌田 克信 氏
		講義	学校保健の現状と課題 講師:保健体育安全課指導主事
		講義・演習	児童生徒のメンタルヘルス(仮) 講師:仙台市精神保健福祉総合センター 所長 林 みづ穂 氏
事前・事後の eラーニング		特になし	

【PR・連絡等】

令和4年度から高校の保健体育で精神疾患教育が必修化されました。精神疾患は、若い世代にも発症しやすいにも関わらず、正しい知識を学ぶ機会が少なく、小中高生の自殺者の増加が背景としてあり、現代的健康課題の一つとなっています。養護教諭は職務の特異性から、経験段階の早期から専門性を発揮し、組織の一員として学校保健を推進する力が求められています。

午前の講義・演習では、効果的な保健教育の在り方、TTでの授業実践について学びます。午後の講義・演習では、児童生徒のメンタルヘルスについて、最新のデータや保健室で役立つ基礎的な知識を習得し、児童生徒への対応について学びます。

※本研修会は、養護教諭を対象に、その資質向上を図るものです。養護教諭以外の職種の方は、申込みができませんので注意してください。ただし、主幹教諭(養護)や、講師(養護担当)は対象に含まれます。

みやぎの教員に 求められる 資質能力 (指標)	指標経験段階	基礎形成期	資質成長期	資質充実期	深化発展期									
	指標資質能力 ※研修計画p.1を参照	教諭 栄教	授業 理解	指導 支え	養教	管理 理解	教育 支え	健・保	幼教等	指導 支え	子供	管理職等	素養 組織 育成	経営 連携
		意欲・人間性		情熱			人間		研鑽					

希望研修

選択研修等	初任研3年目	中堅研	中堅実助	中堅養教	免外
-------	--------	-----	------	------	----

研修会 番号	C1800	学校保健課題解決研修 ～行動科学を活用し学校保健課題を解決する～	申込必要
			[定員 60名]

目的・ねらい	各校が抱える学校保健の課題解決に向けて、最新の知識や情報を取り入れると共に、自らの実践を振り返り今後の学校での取組の充実を図る。
--------	--

【受講対象者】

設立区分	校種							
県立等	中学校	高等学校	特支幼稚部	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	学校以外
市町村立	幼稚園等	小学校	小(義・併)	中学校	中(義・併)	高等学校	学校以外	
仙台市立	幼稚園等	中等教育学校	高等学校	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	
私立	幼稚園等	小学校	中学校	高等学校	特支高等部	特支他		
その他	聴講(農業大学校・仙台高等専門学校・宮教大附属のみ)							

職種							
校長	副校長	教頭	主幹教諭	教諭	養護教諭	栄養教諭	栄養職員
実習助手	寄宿舎指導員	講師	事務(事務等)	事務(指主等)	幼稚園教諭	その他	

【研修内容】

会場: 総合教育センター	7月30日(木)	(午後からの研修)
	講義・演習	効果的な健康教育～ナッジで自ら動く健康づくり～ 講師:青森大学 客員教授 竹林 正樹 氏
	協議	学校保健課題の解決に向けて 講師:総合教育センター指導主事
事前・事後の eラーニング	事前研修	前年度健康教育指導者養成研修の伝達講習

【PR・連絡等】

児童生徒の心身の健康課題は複雑化・多様化しており、解決を図ることが求められています。健康課題の解決に向けては、養護教諭だけではなく、全ての教職員や関係機関等と連携して取り組む必要がありますが、保健活動において、対象者の行動変容を支援することは容易ではありません。

近年、行動変容を支援する手法としてナッジ(Nudge)という行動科学の理論が注目されています。ナッジとは英語で「人々を強制することなく、望ましい行動に誘導するようなシグナルまたは仕組み」と定義されています。「運動をすること」や「規則正しい生活」など健康の大切さを分かっているにもかかわらず、なかなか行動に移せない児童生徒に対する支援の手法について学び、学校における効果的な保健指導の充実を図ります。学級担任や養護教諭等、多くの先生にお勧めする研修会です。